

(様式 1)

工事設計書

[illegible]

(様式2)

設	計	金	額	¥	—
---	---	---	---	---	---

内訳	工	事	価	格	¥	—
----	---	---	---	---	---	---

消費税及び地方消費税相当額	¥	—
---------------	---	---

(様式3)

[illegible]

(様式3)

[illegible]

(様式3)

[illegible]

(様式3)

名 称	形状寸法等	数 量	単位	単 価	金 額(円)	摘 要
(1)建築工事						
直接仮設工事						
墨出し		1	式			
養生		1	式			職員往来確保
整理整頓後片づけ		1	式			職員業務使用可
内部足場		1	式			
仮設間仕切		2	式			
直接仮設工事 小計						
金属工事						
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり	90	m ²			@ 450
軽量鉄骨天井下地	19形 1500≦H<3000	200	m ²			@ 360
あと施工アンカー	天井軽鉄下地 D10	150	か所			上向き 接着系
天井廻り縁	塩化ビニル製	60	m			
軽鉄天井下地開口補強		1	式			
天井点検口	アルミ押出型材	20	か所			450□
内壁 コーナービート		1	式			
壁見切材		1	式			
金属工事 小計						
建具工事						
LHD-1a 額入片引ハンガー戸	W1500*H2100	1	か所			枠見込み164
不燃扉 自閉式吊引き戸装置付						型枠ガラス含
傾斜レール式 LGS壁収納タイプ	枠:フラット枠					ガラスシーリング含
沓摺:仕上材突付	ドアチェック(ストップなし)					クリーニング含
LHD-1a 額入両引ハンガー戸	W1800*H2100	1	か所			枠見込み164
不燃扉 自閉式吊引き戸装置付						型枠ガラス含
傾斜レール式 LGS壁収納タイプ	枠:フラット枠					ガラスシーリング含
沓摺:仕上材突付	ドアチェック(ストップなし)					クリーニング含
建具工事 小計						

(様式3)

名 称	形状寸法等	数 量	単位	単 価	金 額(円)	摘 要
内装工事						
床 ビニル床シート	A 厚2.0 エポキシ接着	90	m ²			
	移動荷重性 帯電防止性					
	耐薬品性 機能型ビニル床シート					
	タシマ 移動荷重用フロア同等					
床耐動荷重シート下 床下地表面強化材		90	m ²			
	タシマ 荷重床プライマー同等					
ソフト巾木 H=75 Rあり	タシマ ソフト巾木同等	60	m			
壁 石膏ボード 厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付		200	m ²			
壁 不燃積層石膏ボード 厚9.5	不燃 鋼製、木、	200	m ²			
	ボード下地 継目処理					
耐火間仕切面 壁 石膏ボード継ぎ目処理		230	m ²			
継目処理工法(ハベルエッジ)						
ライニング壁 壁 メラミン化粧板 厚1.2 合板面		10	m ²			
	積層合板下地 厚18					
壁 ビニールクロス 既存ボード面 素地ごしらえ共		250	m ²			
	既存塗膜除去共					
防火認定品 汚れ防止・消臭タイプ サンケツ 不燃認定壁紙同等						
天井 岩綿吸音板 フラット内部用 厚12 不燃		250	m ²			
下張GB-R 厚12.5共 厚12.5共						
吉野石膏 ソーラトン平板同等						
天井 グラスウール敷込	厚50 24kg/m ³	200	m ²			
サッシ取合方立内 グラスウール充填 16kg/m ² W40×D320		10	m			
遮音間仕切内 グラスウール充填 厚50 24kg/m ³		100	m ²			
遮音間仕切遮音シーリング AC-1 10*10程度		200	m			
感染防止用ガラス膜コーティング	壁付スイッチ・手すり等	1	式			
内装工事 小計						
サイン工事						
室名サイン(小) W210×H210	本体・捨板:アクリル板 厚3	3	か所			
表示方法:CAPP・インクジェット 書体:新ゴR						
サイン工事 小計						

(様式3)

[illegible]

(様式3)

[illegible]

(様式3)

名 称	形状寸法等	数 量	単位	単 価	金 額(円)	摘 要
誘導灯設備						
EM-EEF 2.0mm -3C		20	m			
アウトレットボックス	四角中浅102*102*44	2	個			
誘導灯	LED B級・BH形	2	個			
	避難口誘導灯片面型					
誘導灯設備 小計						
コンセント設備						
合成樹脂製可とう電線管	隠ぺい PF-22	80	m			
EM-EEF 2.0mm -3C		60	m			
EM-EEF 2.0mm -3C	PF管内	90	m			
アウトレットボックス	四角中浅102*102*44	10	個			
埋込形コンセント(大角形)	2P15A×2	5	個			
	接地極・接地端子付					
医用 埋込コンセント	2P15A×4	5	個			
	接地極付(取付枠付)					
コンセント設備 小計						
空調機電源配線設備						
EM-EEF 2.0mm -4C	PF管内	100	m			
配線配管補助材料		1	式			
空調盤 改造費		1	式			
空調機電源配線設備 小計						
拡声設備						
既存時計撤去・移設		2	式			
拡声設備 小計						

(様式3)

[illegible]

(様式3)

名 称	形状寸法等	数 量	単位	単 価	金 額(円)	摘 要
(3)機械設備工事						
空気調和設備						
機器設備						
排気ファン 三相400V	700Pa×1.5KW 2500m ³ /h	1	式			防振基礎含む
同上機器基礎または吊り構台		1	式			
手元排気ファン 三相200V	BFS-300TUA1-60	3	式			インバータ制御
同上機器設置費		1	式			防振金具含む
機器設備 小計						
ダクト設備						
空調ダクト工事						
既存RAダクト撤去	ダクト端末処理含む	1	式			
HS及びチャンバーボックス設置	400×400	3	式			
既存ダクト接続		3	式			
ダクト設備 小計						
換気設備						
局所排気設備						
ダクト撤去	ダクト端末処理含む	1	式			
新規ダクト工事 スパイラルダクト	250φ	300	m			
ダクトスペースダクト	400×400 角ダクト	200	m			6Fまで
ダクト支持金物及び消耗品		1	式			
床貫通工事						
レントゲン撮影	500角 衛生配管分	10	カ所			
コア工事		10	カ所			研り工事含む
換気設備 小計						
空調配管設備						
空調用冷水管分岐	バルブ止め SUS304	1	式			
ボールバルブ		2	個			2次側医療機器にて使用
空調配管設備 小計						

(様式3)

名 称	形状寸法等	数 量	単位	単 価	金 額(円)	摘 要
総合調整費						
空気調和設備調整費	最大1.5か月程度	1	式			
クリーンルーム環境測定費	抗がん剤調製室	1	式			各所HPEA交換含
総合調整費 小計						
自動制御設備						
送風機制御盤	INV制御 盤改造含む	1	面			
手元送風機制御盤	3回路	3	面			
既存撤去費		1	式			
配線工事費		1	式			
技術料		1	式			
試運転調整費		1	式			
自動制御設備 小計						
給排水衛生設備費						
衛生器具設備						
LS850	給水・給湯・排水	3	式			
衛生器具設備 小計						
給水設備						
既存撤去		1	式			
給水配管 (コア抜き含)	20A SGP-LP	30	m			必要時凍結工法
保温工事	グラスウール20mm	30	m			
給水設備 計						
排水設備						
排水管 (コア抜き含)	DVLP 50A	15	m			
通気管	DVLP 40A	5	m			
保温工事	グラスウール	30	m			
屋内排水設備 計						

(様式3)

[illegible]

公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館地下1階薬剤部改修工事仕様書

本仕様書は、公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター本館地下1階薬剤部改修工事の仕様を示すものであり、これに規定のない事項については、公立大学法人横浜市立大学工事請負契約約款（以下、「約款」という。）を適用し、約款に規定のない事項については、横浜市立大学担当職員（以下、「職員」という。）の指示を受けて行うものとする。

1 概 要

- (1) 名 称 公立大学法人横浜市立大学附属市民総合医療センター本館地下1階薬剤部改修工事
- (2) 場 所 横浜市南区浦舟町4丁目57番地
横浜市立大学附属市民総合医療センター本館地下1階薬剤部
- (3) 内 容 医療機器更新に伴い、本館地下1階薬剤部無菌室改修を行う工事
- (4) 工 期 契約締結日から令和4年3月31日まで

2 一般共通事項

- (1) 工事の特性について
病院内の診療や職員の職務に対し支障のないよう工法、工程等を検討すること。
- (2) 関係法令について
修繕に関係する法令・条例及び諸規則を遵守すること。
- (3) 技術者の配置について
請負人は建設業法の規定による技術者を配置し、施工の技術上の管理を行うこと。
- (4) 諸官庁届出について
施工に必要な諸官公庁その他への届出は、請負人の責任において遅滞なく全て行うこと。届出を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ職員に報告すること。
- (5) 施工計画書について
請負人は、工事実施日までに、仕様書及び設計図書に対応した施工計画書を作成し職員の承認を受けること。

3 機械設備仕様

- (1) 一般仕様及び特記仕様
別紙工事設計書及び図面を参照のこと。
- (2) 共通仕様
設計図書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編 最新版）（電気設備工事編 最新版）（機械設備工事編 最新版）」、同「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編 最新版）（電気設備工事編 最新版）（機械設備工事編 最新版）」及び国土交通省大臣官房官庁環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編 最新版）（機械設備工事編 最新版）」による。

4 工事共通仕様

(1) 作業時間について

原則として午前9時から午後6時までとすること。資材搬出入等で時間外に工事エリアに立入の際は、前日までに職員に連絡し承認を得ること。

(2) 作業条件について

騒音及び振動の発生する作業は、土曜、日曜、祝日とする。作業内容の範囲については、職員に確認すること。

(3) 関係車両の駐車場について

工具・機材等の運搬用車両については業者用駐車場を無料にて利用できるが、通勤等で業務用駐車場を利用することはできない。

(4) 資材置場について

院内もしくはドライエリア等の露天に確保するが、車両の横付けができない場所もある。

(5) 作業員詰所について

必要があれば契約後に打合せとする。

(6) 院内のトイレ使用について

職員指定のトイレを使用すること。

(7) 資材廃材等の搬出入ルートについて

職員指定のルートで搬出入を行うこと。

(8) 工事用水・電気利用について

許容内で無償とする。

(9) 火気使用について

修繕エリア内で火気を使用する作業を行う場合は、事前に職員に連絡し了承を得ること。

(10) 現場代理人の常駐について

修繕期間中は、原則とし現場代理人が常駐し、工程管理、作業員の監督、風紀衛生の取締、火災等の事故防止に務めること。

(11) 腕章の着用

技術者及び作業員は、院内において所属会社名が記載された腕章を着用すること。腕章は、請負人で作成すること。

(12) 作業終了時

現場代理人は、救急棟地下1階中央監視室で作業終了の報告をし、作業内容を記帳すること。

5 提出書類

提出書類	期限	提出部数	その他
契約書	契約時	2部	大学指定書式
工程表	契約後7日以内	同上	同上
着手届出書	契約後7日以内	同上	同上
現場代理人選定通知書	契約後7日以内	同上	同上
下請負人選定通知書	契約後7日以内	同上	同上
施工計画書	契約後7日以内	同上	請負者書式
完成図書	竣工時	2部	同上
完成写真	竣工時	同上	同上
完成届出書	竣工時	同上	大学指定書式



本館地下1階薬剤部改修工事

図 面 リ ス ト								
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
表 -01	表紙	N/S	電気-01	改修特記仕様書（電気 01）	N/S	機械-01	改修特記仕様書（機械 01）	N/S
配置-01	案内図・配置図	A1:1/500 A3:1/1000	電気-02	改修特記仕様書（電気 02）	N/S	機械-02	改修特記仕様書（機械 02）	N/S
特記-01	改修特記仕様書（1）	N/S	E -01	幹線動力設備（本館6階）	A3：1/300	AC-01	空調ダクト設備図（本館6階）（新設）	A3：1/300
特記-02	改修特記仕様書（2）	N/S	E -02	幹線動力設備（本館地下1階）	A3：1/300	AC-02	空調ダクト設備（既設）（撤去図）	A3：1/100
特記-03	改修特記仕様書（3）	N/S	E -03	幹線動力設備（本館地下2階）	A3：1/300	AC-03	空調ダクト設備（新設）	A3：1/100
特記-04	改修特記仕様書（4）	N/S	E -04	コンセント設備図（既設）（撤去図）	A3：1/60	AC-04	空調配管設備（新設）	A3：1/60
特記-05	改修特記仕様書（5）	N/S	E -05	コンセント設備図（新設）	A3：1/60	AC-05	消火設備図（既設）	A3：1/60
特記-06	改修特記仕様書（6）	N/S	E -06	自火報設備図（既設）（撤去図）	A3：1/60	AC-06	消火設備図（新設）	A3：1/60
区分-01	工事区分表（1）	N/S	E -07	自火報設備図（新設）	A3：1/60	AC-07	自動制御設備図（本館6階）（新設）	A3：1/300
区分-02	工事区分表（2）	N/S	E -08	照明器具配置図（既設）	A3：1/60	AC-08	自動制御設備図（既設）（撤去図）	A3：1/60
区分-03	施工場所・搬入ルート図	A3：1/300	E -09	照明器具配置図（新設）	A3：1/60	AC-09	自動制御設備図（新設）	A3：1/60
意匠-01	仕上特記・記号凡例（1）	N/S	E -10	LAN設備図（新設）	A3：1/60	P -01	給排水衛生設備（既設）（撤去図）	A3：1/60
意匠-02	仕上特記・記号凡例（2）	A1:1/5 A3:1/10	E -11	放送設備（取外し・再取付）	A3：1/60	P -02	給排水衛生設備（新設）	A3：1/60
意匠-03	仕上特記・記号凡例（3）	A1:1/5 A3:1/10						
意匠-04	平面図(改修前)	A3：1/300						
意匠-05	平面図(改修後)	A3：1/300						
意匠-06	平面詳細図(改修前)	A3：1/100						
意匠-07	平面詳細図(step1)－仮設・撤去工事	A3：1/100						
意匠-08	平面詳細図(step1)－改修工事	A3：1/100						
意匠-09	平面詳細図(step2)－仮設・撤去工事	A3：1/100						
意匠-10	平面詳細図(step2)－改修工事	A3：1/100						
意匠-11	平面詳細図(改修後)	A3：1/100						

工事概要・建物概要

工事名称：横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館地下1階薬剤部改修工事

工事場所：神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57番地

建物用途：病院

用途地域：商業地域

防火地域指定：防火地域

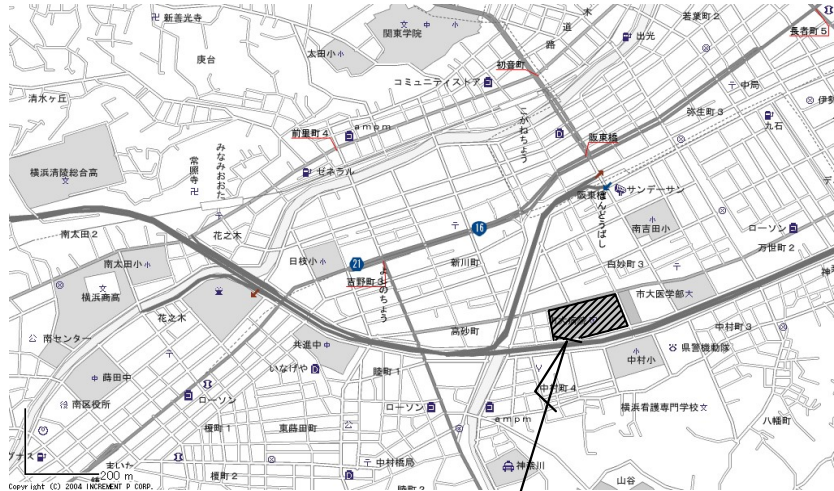
日影規制：規制なし

前面道路幅員：北側：22.0m（都市計画道路で幅員25.0mに拡幅予定有り）
東側：9.5m 南側：9.7m 西側：4.0m

敷地面積：18,493.50 m²

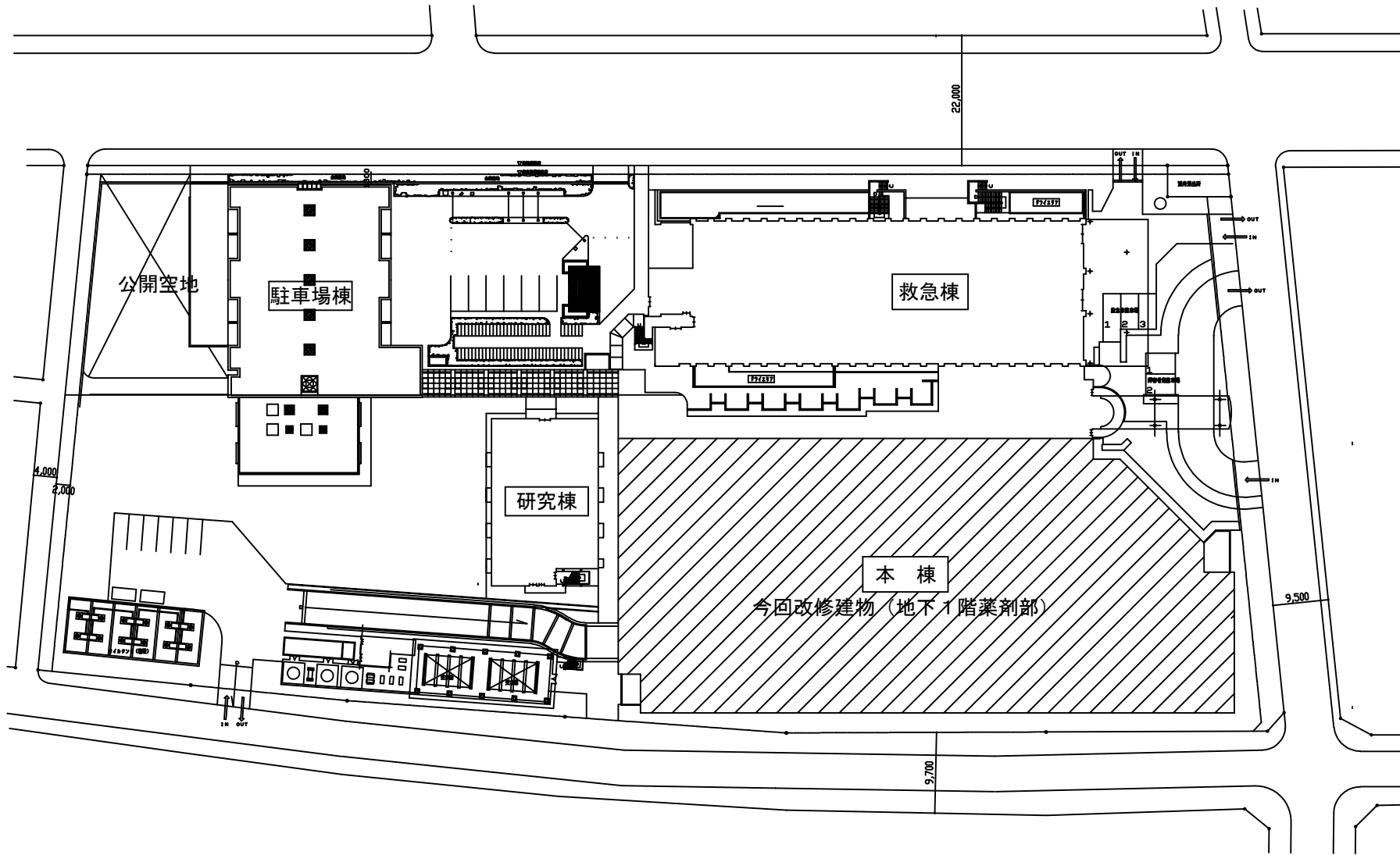
法定建ぺい率：100%

法定容積率：400%

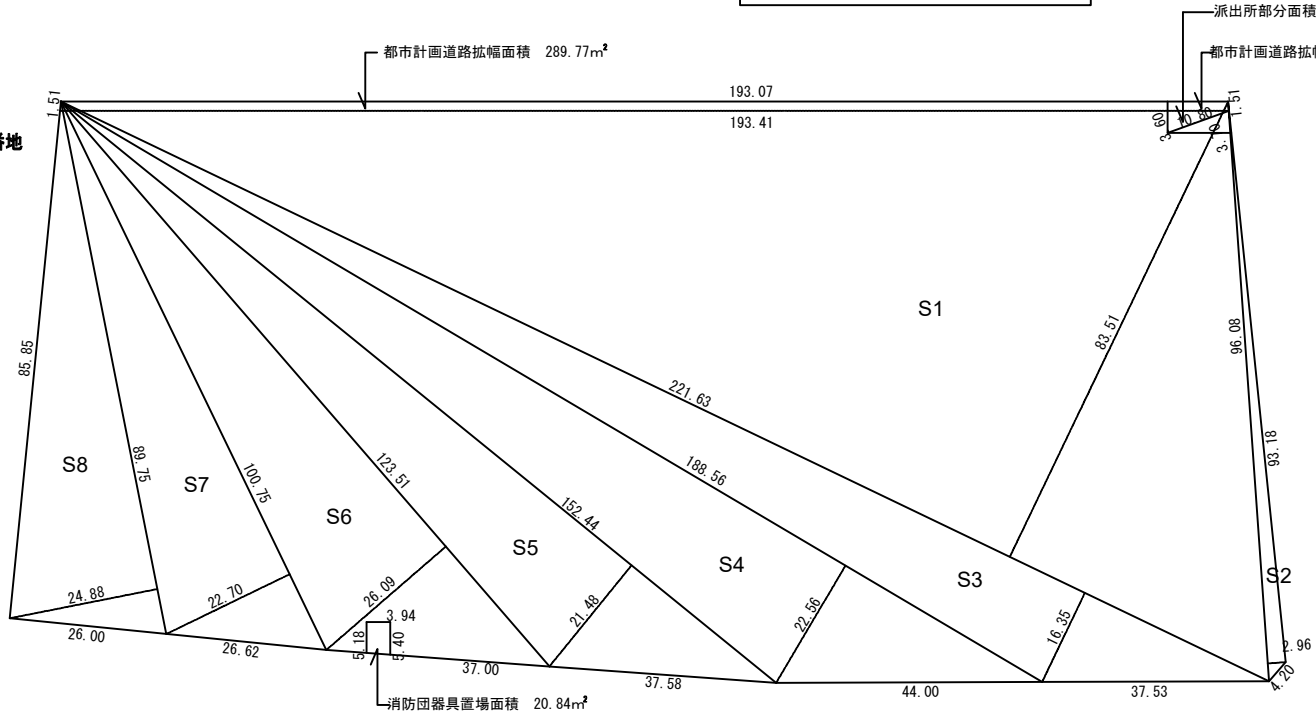


工事場所：神奈川県横浜市南区浦舟町4丁目57番地

案内図



敷地配置図 1/1000



敷地求積図 1/1250

敷地求積表

符号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積 (m ²)
S1	221.63	83.51	18,508.3213	
S2	96.08	2.96	284.3968	
S3	221.63	16.35	3,623.6505	
S4	188.56	22.56	4,253.9136	
S5	152.44	21.48	3,274.4112	
S6	123.51	26.09	3,222.3759	
S7	100.75	22.70	2,287.0250	
S8	89.75	24.88	2,232.9800	
37,687.0743				
×1/2				18,843.5371

計画敷地面積 = 現況敷地面積 - 消防団器具置場面積 - 派出所部分面積
= 18,843.5371 - 20.84 - (39.42+15.30)
= 18,767.9771
(18,767.97)

計画道路を除いた面積 = 計画敷地面積 - 計画道路面積
= 18,767.97 - (289.97-15.30)
= 18,493.50

仕 様 書

Ⅰ 工事概要

1. 工事名称

横浜市立大学附属市民総合医療センター 本館地下1階薬剤部改修工事

2. 建築主

公立大学法人横浜市立大学 理事長

3. 工事場所

神奈川県横浜市区南青舟町4丁目57番地

4. 建物概要

1. 敷地面積	18,493.50	㎡	(		坪)
2. 建物用途	病院				
3. 建築面積	9,629.15	㎡	(		坪)
4. 延べ面積	73,946.24	㎡	(		坪)
5. 構造	○ 鉄骨造 ○ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ・ 鉄筋コンクリート造 ・ その他 ()				
6. 階数	地下 2階 地上 15階 塔屋 1階				

5. 工事種目

○ 建築工事

・ 新築補強工事

○ 空調設備工事

○ 給排水衛生設備工事

○ 電気設備工事

・ 外構工事

6. 工事内容

○ 本館地下1階薬剤部無窓エリア内に、局所排気設備導入に伴う改修工事

・

・

・

・

・

7. 別途工事

○ 医療機器

○ 什器備品等

・

・

・

・

8. 工事範囲

■「5.工事種目」のすべてを工事範囲とする。
・「5.工事種目」のうち工事項目における工事範囲は下記表のとおりとする。

工事項目	工事種目				
②	仮設工事				
3	防水改修工事				
4-1	外壁改修工事				
コンクリート打放し仕上げ外壁					
4-2	外壁改修工事				
モルタル塗り仕上げ外壁					
4-3	外壁改修工事				
タイル張り仕上げ外壁					
4-4	外壁改修工事				
塗り仕上げ外壁					
⑤	建具改修工事				
⑥	内装改修工事				
7	塗装改修工事				
8	新築改修範囲以外の躯体改修工事				
9	新築改修工事				
⑩	環境配慮改修工事				

9. 工期 最大 か月

着工:令和3年 月 日

竣工:令和3年 月 日

Ⅱ 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁官繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年度版）」（以下、「改修標準」という。）により、改修標準に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁官繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年度版）」（以下、「標準」という。）による。

(2) 図面及び仕様書の記載事項の優先順位は、質疑回答書、現場説明書、改修特記仕様書、図面、改修標準、順位の順序とする。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、■印の付いたものを適用する。
○印と●印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準に当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の () 内表示番号は、標準の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(5) ⑨印は「図等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。

(6) 同等品の取り扱い
■ 材料製品ならびにその製造所及び施工業者を、図面または特記仕様、別表で指示している場合には、「同等以上」または「同等品」という記載のある場合に限って、同等以上と認められるものを、監督員の承諾を受けて用いることが出来る。

(7) CADデータの受け渡し
1. CADデータの利用については、利用目的を明確化し、目的外の利用及び第三者への譲渡・転賃を禁止する。
2. CADデータの仕様及び変換方式については、DVDディスク又はCD-Rとし、ファイル形式は下記とする。
■ AutoCAD (、dwg) ファイル形式 (DWG、LT2010以上)
・ DXFファイル方式 (R14.4以上)
・ 協議による。

章 項 目 特 記 事 項

① 一般共通事項

① 適用基準等

■建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁官繕部建築課監修）（平成28年版）
■営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁官繕部監修課）（令和3年版）
■建築工事施工監理指針（国土交通省大臣官房官庁官繕部建築課監修）（平成28年版）
■建築改修工事監理指針（国土交通省大臣官房官庁官繕部建築課監修）（平成28年版）

② 官公庁への手続

③ 申請、検査手続への協力

④ 完了検査等手数料

5 昇降機確認申請

⑥ 工事実績情報の登録

⑦ 設計図書等の取扱い

⑧ 設備工事との取合

⑨ 軽微な変更

⑩ 設計変更

⑪ 特許に関する注意

⑫ 施工図等

⑬ 工事報告

⑭ 電気保安技術者

⑮ 施工条件

⑯ 災害防止

17 近 隣 調 査

⑰ 火災保険

19 発生材の処理等

■建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁官繕部建築課監修）（平成28年版）
■営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁官繕部監修課）（令和3年版）
■建築工事施工監理指針（国土交通省大臣官房官庁官繕部建築課監修）（平成28年版）
■建築改修工事監理指針（国土交通省大臣官房官庁官繕部建築課監修）（平成28年版）
本工事に必要な官公庁その他への手続は、全て受注者等が行う。
発注者などが行う、建築基準法に基づく計画変更申請、中間検査、完了検査（許可、認定申請等を含む）、その他建築関係法令に基づく申請、検査、および各種補助金にかかわる申請、検査等に必要な手続、資料作成（申請書、図面、建築書等）に協力すること。
建築基準法に基づく計画変更申請、中間検査、完了検査等（許可、認定申請等を含む）の手数料負担者（受注者等の希望による設計変更に起因する計画変更申請を除く）
■発注者 ・受注者等
昇降機の確認申請は、昇降機設備専門業者が建築主の代理人として行い、申請およびこれにかかわる検査に要する費用は、受注者等の負担とする。
■適用する ○月間工事報告書A4版5部を監督員の指示により作成し提出する
設計図書は、主要な部位、事項についての設計図面を示すものであり、必ずしも工事の完成に必要なすべての情報を網羅するものではない。
受注者等は、設計図書に示された情報をもとに、製造者などの特定を経て、工程や地下などを考慮のうえ、責任を持って生産設計、製作、施工を行い、工事の適切な遂行と完成に必要なすべてのものを供給する。
イ)施工範囲
・ 図示した鉄骨、鉄筋コンクリート部の貫通口、開口部のスリーブ、型枠及びその補強。
・ 図示した軽量鉄骨地下天井、壁ボード類の地下補強を要する切込み及び補強。
・ 自動閉鎖装置取付箇所の仕組み及び補強。
・ 意匠図あるいは構造図中に表示がない場合でも機械設備図又は電気、その他図面に必要となる開口、スリーブ、その他取り合いに必要なものはこれを本工事に含むものとする。
■ 工事区分表に示すもの
ロ)設備機器類の位置、取り合いなどの検討が出来る施工図を作成して、監督員の承諾を受ける。その施工図は下記とする。
■ 総合プロット図（■平面図・天井伏図・監督員が位置指定する展開図）
現場の納り及び取合いなどから生じる、材料の寸法、形状、数量等の軽微な変更については、請負金額の範囲内で処理する。
発注者の希望により、標準仕様書11.8(騒音に対する協議等)に該当しない設計変更、追加工事を要請された時には、あらかじめ見積書を提出して監督員の承諾を受けた上で工事に着手する。この場合は特約のない限り各工事種目夫、契約時の単価により監督員の承諾する数量で請負金額の増減を行い、総合仮設及び経費については契約時の率にて増減する。
材料、機械または工法等が第三者の所有する特許に触れる場合は、あらかじめその権利の使用に對する必要な手続きを完了した後、受注者等の費用負担として、これを採用する。決してその権利を侵害するような行為をしてはならない。万一、その特許権を侵害するような事態が生じた場合はその動機の故意と不注意のいかんにかかわらず、受注者等は自己の負担でこれを解決しなければならない。
工事の施工上、監督員の承諾を必要とする製作(以下「施工図」等)は受注者等が滞りなく作成し、監督員はこれを照査の上、受理印を押印して返却する。
なお、返却後1週間以内に監督員が書面をもって異議の申し立てを行わない場合には施工図等は承諾されたものとみなし、受注者等はその施工図等に基づいて工事を行う事ができる。
施工にあたり別途関連工事の受注者等と協力して総合図を作成し、監督員の承諾を得ること。
■工事月報(月末締、工事写真及び工事出来高表等添付)3部を監督員の指示により作成し、提出する。
施工前にモックアップルームを作成し、建築主、施設利用者、監督員、受注者立会いのもと、使用材料、納まり、寸法、建具、家具、電気・空調・衛生設備等の検討確認を行い施工を行うこと。
モックアップルームには本工事に含まれる家具、造作の他、電気、空調、衛生設備機器を仮設置する。
作成範囲:
設置場所:
設置期間:
・外壁モックアップ
特に見本施工を要するもの
・モックアップルーム
施工前にモックアップルームを作成し、建築主、施設利用者、監督員、受注者立会いのもと、使用材料、納まり、寸法、建具、家具、電気・空調・衛生設備等の検討確認を行い施工を行うこと。
モックアップルームには本工事に含まれる家具、造作の他、電気、空調、衛生設備機器を仮設置する。
作成範囲:
設置場所:
設置期間:
・外壁モックアップ
工事の完成後、60日以内に完成写真を下記により提出する。
・フォトブック形式とする
1. 撮影カット数は下記による。
(1)フォトブック掲載カット数は 5カット（ ・ 航空写真 カットを含む）とする。
(2)実撮影カット数は、掲載カット数の1.5倍とし、フォトブックに採用するカットは監督員と協議する。
2. フォトブックの体裁は下記による。
(1)提出部数は 2部とし、工事概要、各階平面図を記すこと。
(2)A4サイズ(見開きA3・フルフラットタイプ)とし、装丁は上製本・固定セパリ式製本とする。
(3)掲載カット数の60～70%程度のページ数にて作成する。
(4)ページレイアウト(校正)データ作成は撮影者とし、レイアウトは監督員と協議する。
(5)デザインデータはPhotoshop又はIllustratorで作成し、出力解像度は600dpi以上とする。
(6)出力用紙は、カラープリント(図面紙両面印刷・半光沢)とし、オンデマンド印刷は不可とする。
ただし監督員が許可した場合はこの限りではない。
■アルバム形式とする
1. 撮影箇所数、原版の大きさ、モノクローム、カラーの別、焼付大きさは下記による。

分類・規格	撮影箇所数	原版の大きさ(m)
カラー	・ 四切り	■枚
	・ 六切り	■枚
	・ キャビネット版	■枚
・ 手札版	■枚	

・航空写真 カットを含む
2. 提出部数は●部とし、工事概要を記しアルバムに整理して提出する。
3. 主要なカットのボジフィルム(5カット程度)を1部提出する。
上記内容については、電磁的記録媒体のみの納品も可能とする。部数・提出方法を監督員との協議の上、決定可能とする。
竣工写真に関する共通事項
1. 全撮影カットのデジタル画像データ及び、フォトブック形式の場合はデザインデータをDVD-Rにて1部提出する。
(1)デジタルデータは撮影カットすべて長辺2880ピクセル以上、11f形式及び、JP8形式で提出する。
(2)JPEGデータの圧縮率は低圧縮(最高画質)とする。
(3)ネガ等からのデジタルデータ入力はフィルムスキャニングとする。
2. 撮影者は監督員の承諾を受けたものとする。
3. カメラはアオリのきくものを用いる。
4. デジタルカメラ撮影の場合は35mmフルサイズ以上の撮像素子を有する2000万画素以上のもの、ネガ撮影場合は6×9cm版以上のカメラを使用する。
5. デジタルカメラ撮影の場合はRAWデータ撮影とする。

① 一般共通事項

② 材料の品質等

① 見本の提出

② 特別な材料の工法

③ 支給材料

④ 建築材料の製造所

⑤ 検査または試験の費用

⑥ 技能士

27 見本施工

② 完成写真

① 一般共通事項

② 9 完成図

③ 完成時提出書類

③ 設計&

③ 著作権

33 仮使用

③ 取扱い説明書

③ その他

③ 既設躯体の確認

③ 調査範囲

38 調査方法

39 調査のための破壊部分への補修

④ 環境への配慮

工事完成後、60日以内に監督員の指示に従い完成図を作成の上提出する。ただし、部分完成の場合は除く。
1. 完成図は下記設計図書を最終の状態に訂正の上、提出する。
■ 全ての設計図書
・ 配置図、各階平面図、立面図、断面図、地計図、各種補強図、蓄積表、仕上表、建具表、外構図、構造図、確認申請平面図(区画図カラー刷り)、その他監督員の指示による。
2. 完成図の提出は、下記の仕様による。
■ CADデータ ・ Auto CADデータ（・およびJW CADデータ）およびDXFデータをDVD-Rにて2部提出。
■ PDFデータ ・ 解像度を600dpiとし、オリジナルCADデータより直接書き出したもの（ただし表紙のみ施工者の押印したものをスキャニング）をDVD-Rにて1部提出。
・ 原図 ・ 1：1による訂正完成原図一式（A1サイズとする）
・ マイクロフィルム ・ 3.5mmフィルムを使用し、リストを付付ロールにて1部提出。（監督員の指定する業者にて作成の事。）
3. 製本は表紙及び工事名称、竣工年月、建築主、設計、監理、施工者名の文字入りとする。
■ A3版縮小図(黒表紙、白焼、確認申請平面図の区画図はカラー刷り) 1部
（監督員の指定する体裁とする事）
(複写図・白焼)
・ A1版見開き製本(複写図・白焼) 2部 ・ A1版見開き製本（青図）2部
・ A3版縮小見開き製本(複写図・白焼) 5部 ・ A3版縮小見開き製本（青図）5部
・ A4版又はB5版製本(黒表紙金文字入原紙大青図折込) 1部
・ 監督員の指示による図面(施工図等)のA1版見開き製本(青図) 1部
4. 国土交通省「営繕工事電子納品要領」に準じる電子成果品について。
■ 不要 ・ 必要
5. 監督員の指定する施工図等のAuto CAD（又はDXF）データ及びPDFデータをDVD-Rにて2部提出。
完成写真、完成図とは別に下記書類を合本又はファイリングの上、2部提出する。
1.竣工図、竣工引渡書、受領書
2.諸官庁届出一切の許可書類及び写し
3.改修特記仕様書に示す各種材料の保証書及び写し
4.各種材料・機器試験報告書、保証書
5.取扱い説明書、部品(工具)、引渡書(一覧表)
6.メーカーリスト表
7.受注者等の竣工後の連絡先
8.協力業者名簿
9.経リスト、経引渡書、受領書
10.安全に関する資料
■建築物等の利用に関する説明書作成は「建築物等の利用に関する説明書作成の手引き」(国土交通省 平成25年3月版)による。
■建築主への説明を実施すること。
■図示 ・
設計者が創造するデザインや建物は著作権法で保護されており、主に建物及び図面については設計者が著作権を有する。建物引き渡し後もその著作権は設計者が有する。
本工事に伴い、施工建物または、既設建物部分に仮使用が発生する場合、受注者等は監督員の指示に従い安全計画書を作成し必要な措置を講ずるものとする。
工事目的物を建築主へ引き渡したのち、工事請負契約書に定める瑕疵担保の期間内には、監督員の指示に基づき工事全般について瑕疵および消耗に関する調査を行う。
大気汚染防止法第18条の17及び横浜市生活環境の保全等に関する条例(第92条の2第4項の規定)による、事前調査を行い結果を提示する。調査結果の提示場所は、監督員と協議する。
本図は既存図面を参照の上作図したものであるため、改修工事着工にあたり主要な躯体寸法は確認すること。
図示の範囲と施工計画を立案する上で必要な範囲
① 図示
② 図示
(1) 総則
1.室内空気汚染対策(ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物)については、他の項の適用による他、屋内仕上については本項の内容を厳守すること。また、屋外仕上についても使用材料等を吟味し、化学物質の放散に十分に留意すること。
2.建材、施工材の使用材料の選定においては、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、放散が十分少ないものをJASまたはJIS等を参考に適切に選択すること。
3.仕上塗材、塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の選択及び取扱いに当たっては、当該製品の製造所が作成した製品安全データシート(PRI法による)の内容を把握するとともに、現場に常備し、記載内容の周知徹底を図ること。ただし、製品安全データシートの成分表示には表記されない揮発性有機化合物が含まれている可能性もあるため、疑いのある製品の使用については十分に考慮すること。
4.施工中、接着剤、塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分に管理し適切な乾燥時間をとること。また、施工時、施工後の通風、適切な換気を十分に行い、室内に放散した溶材成分等の希釈を図ること。
5.各建材、材料について、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物に関する規格の等級、又は安全を証明する試験データ等は、写真又は書類として監督員へ報告し、保管すること。
6.内装仕上に用いる建築材料の取付状況の写真撮影を行い、官庁による中間検査、完了検査時に提出すること。
(2)ホルムアルデヒドに関する等級について
1.合板類、木質系フローリング、集成材、単板積層材(CVL)、OSBに関するホルムアルデヒド放散量のJASで定める等級は下記とする。
■F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・図示
2.WDF、パーティクルボード、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、塗料に関するホルムアルデヒド放散量のJISで定める等級は下記とする。
■F☆☆☆☆ ・F☆☆☆☆ ・図示
(3)本工事
1.接着剤(主剤、可塑剤、硬化剤)は、環境配慮型のものとする。
2.木材保存剤
1) 木材保存剤(木材の防腐・防蟻処理)は非有機リン系とし、クロルピリホスを使用しないものとする。
2) 防腐、防蟻処理の方法
建材は工場における加圧式とし、十分に乾燥を行う。
ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布することとする。
(4)塗装工事
1.塗装はホルマリン不抽出で、水性系のものまたは環境配慮型のものとし、水性系塗料は日本塗料工業会(F06を標準とした室内塗料分類JW-1)に準じ、または同等以上とすること。
・厚生労働省の定める指定13物質全て不抽出とする。
・天然系塗料とする。
・錆止塗料は、鉛、クロム等の有害な重金属を含まない無公害型のものである。

記事

公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター

YU

係長

係員

DATE

名 称:

名 称:

図面番号

特記-O1

本館地下1階薬剤部改修工事

改修特記仕様書（1）

[illegible]

[illegible]

B-5	断熱改修工事	1打増し壁に用いる シアコネクタ [8,2,4]	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタの種類 ■「23あと施工アンカーの材料」による間隔（mm） ■500×500・図示																														
		2増設・補強工事の コンクリートの打込み	・図示																														
		3柱補強工事 [8,23,5]	・溶接金網巻き工法及び溶接鋼鎖フープ巻き工法 ・流込工法 ・圧入工法 ・鉄鋼板巻き増し打ち補強																														
		4連続繊維補強工事 [8,24,1～5]	材料・形状 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度（含浸硬化後） ・2500N/mm²以上 ・3000N/mm²以上 ヤング係数（含浸硬化後） ・2.35×10³ N/mm²程度 ・2.00×10³ N/mm²以上 工法 ■〈財〉日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 仕上げモルタルの除去 ■行う・行わない 柱の隅角部の面取り ■工法の評価内容による																														
		5耐震スリット新設 [8,25,2]	スリット部の配管等の探査 ■探査器により探査し、配管等の位置の暴出を行う ・はつり出し																														
		9環境配慮（グリーン）改修工事	1断熱・防露改修工事 [9,5,2～4] <table border="1"><thead><tr><th colspan="2">種別</th><th>厚さ（mm）</th><th>施工箇所</th><th>品質等</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">・押出法ポリスチレンフォーム保温材</td><td>■保温板（3種b）</td><td>■25・ ・図示</td><td>■一般部</td><td>／フロア</td></tr><tr><td>■保温板（3種b） （スチ層付き）</td><td>■25・ ・50</td><td>・接合部分</td><td>／フロア</td></tr><tr><td>-</td><td>-</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・A種硬質ウレタンフォーム保温材</td><td></td><td>■25・ ・50</td><td>・表合シ断水（屋根）</td><td>／フロア</td></tr><tr><td>・フェノールフォーム保温材 （3種2号を除く）</td><td>■25・ ・25+25</td><td>・表合シ断水（屋根）</td><td>／フロア</td></tr><tr><td>・断熱材兼用型枠</td><td></td><td>■40以下 ・</td><td>■壁（図示の範囲） ・</td><td>断熱抵抗 ＝厚さ／熱伝達率 ＝0.676以上 （㎡・K/W）</td></tr></tbody></table> 製造所建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ■A種1 ・B種1 厚さ（mm） ・25・30 ・ 施工箇所 ・図示 ・ 組織基盤及び材料 ・屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の種類等 ■図示 ・ 工法 かん水装置 ・設置する（工事区分は図示による） 既存保護層の撤去 ・行う 路盤材料 ■再生クラッシャーラン（RC-40） ・クラッシャーラン（C-40）又はクラッシャーランスラグ（CS-40） 透水性の高いものを使用する 遮断層及び凍土抑制層の材料 ・遮断層 ■川砂、海砂又は良質な山砂 ・ 厚さは図示 ・凍土抑制層 ■再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン 切り込み砂利 ・砂 厚さは図示 盛土に用いる材料 ・A種 ■B種 ・C種 ・D種 路床安定処理 ■添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰（ ・消石灰（ ） ） 添加量 kg/m³（目薬CR） ■5以上 ・ 路床土の支持力比試験 ■行う（■乱した土 ・乱さない土） 路床締固め度の試験 ■行う アスファルト混合物 車道部 ■改良アスファルトⅠ型 歩道部 ■ストレートアスファルト 透水性舗装 アスファルト混合物の抽出試験 ■行わない ・行う	種別		厚さ（mm）	施工箇所	品質等	・押出法ポリスチレンフォーム保温材	■保温板（3種b）	■25・ ・図示	■一般部	／フロア	■保温板（3種b） （スチ層付き）	■25・ ・50	・接合部分	／フロア	-	-	・		・A種硬質ウレタンフォーム保温材		■25・ ・50	・表合シ断水（屋根）	／フロア	・フェノールフォーム保温材 （3種2号を除く）	■25・ ・25+25	・表合シ断水（屋根）	／フロア	・断熱材兼用型枠		■40以下 ・
種別		厚さ（mm）	施工箇所	品質等																													
・押出法ポリスチレンフォーム保温材	■保温板（3種b）	■25・ ・図示	■一般部	／フロア																													
	■保温板（3種b） （スチ層付き）	■25・ ・50	・接合部分	／フロア																													
	-	-	・																														
・A種硬質ウレタンフォーム保温材		■25・ ・50	・表合シ断水（屋根）	／フロア																													
	・フェノールフォーム保温材 （3種2号を除く）	■25・ ・25+25	・表合シ断水（屋根）	／フロア																													
・断熱材兼用型枠		■40以下 ・	■壁（図示の範囲） ・	断熱抵抗 ＝厚さ／熱伝達率 ＝0.676以上 （㎡・K/W）																													
9	環境配慮（グリーン）改修工事	①施工調査 [9,1,1]	■改修標準9.1.1に沿って施工調査を行う。 ■普面調査及び現地調査によりアスベストの使用が疑わしいものは、監督職員に報告し、対応策を協議すること。 ■施工調査により新たにアスベスト含有建材等の存在が判明した場合は、監督職員に報告し、対応策を協議すること。 ■本工事で受注者等が実施する分析調査 <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>調査範囲</th><th>調査、分析内容等</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アスベスト含有吹付け材</td><td>・解体建物全体 ・図示</td><td>・JIS A 1481による ・図示</td></tr><tr><td>・アスベスト含有保温材等</td><td>・解体建物全体 ・図示</td><td>・JIS A 1481による ・図示</td></tr><tr><td>・アスベスト含有成形板</td><td>・解体建物全体 ・図示</td><td>・JIS A 1481による ・図示</td></tr><tr><td>・建築設備使用のアスベスト含有材</td><td>・解体建物全体 ・図示</td><td>・JIS A 1481による ・図示</td></tr><tr><td>○机上調査では含有の可能性無し</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	種別	調査範囲	調査、分析内容等	・アスベスト含有吹付け材	・解体建物全体 ・図示	・JIS A 1481による ・図示	・アスベスト含有保温材等	・解体建物全体 ・図示	・JIS A 1481による ・図示	・アスベスト含有成形板	・解体建物全体 ・図示	・JIS A 1481による ・図示	・建築設備使用のアスベスト含有材	・解体建物全体 ・図示	・JIS A 1481による ・図示	○机上調査では含有の可能性無し														
種別	調査範囲	調査、分析内容等																															
・アスベスト含有吹付け材	・解体建物全体 ・図示	・JIS A 1481による ・図示																															
・アスベスト含有保温材等	・解体建物全体 ・図示	・JIS A 1481による ・図示																															
・アスベスト含有成形板	・解体建物全体 ・図示	・JIS A 1481による ・図示																															
・建築設備使用のアスベスト含有材	・解体建物全体 ・図示	・JIS A 1481による ・図示																															
○机上調査では含有の可能性無し																																	
2アスベスト粉じん濃度測定 [9,1,1]	・行う（測定時期、測定場所、測定点数は図示） ・行わない 測定方法 ・JIS K 3850-1「空気中の繊維状物質粒子測定法－第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」 ・（ ）																																
3アスベスト含有吹付け材の除去工法 [9,1,3]	・改修工事特記仕様書9.1.3の(a)から(d)による ・（ ）																																
4アスベスト含有吹付け材の飛散防止 [9,1,3,(b)]	・図形化処理を適用する ・適用しない																																
5アスベスト含有吹付け材等の処分 [9,1,3,(c)]	・任意の中継処理（ ・無害化施設 ・溶融施設 ）																																
6アスベスト含有保温材等の除去工法等の適用 [9,1,4]	・原形のまま手ばらし ・上記以外（ ）																																
9	外断熱改修工事 [9,3,2]	7アスベスト含有保温材等の処分 [9,1,4]	・任意の中継処理（ ・無害化施設 ・溶融施設 ） ・管理型又は遮断型最終処分場にて埋立処分																														
		8その他	■分析調査により回収、処分が必要な場合には、関係法令に従い適切に処理を行い、監督職員の承諾を得ること。																														
			断熱材の種類 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2">材科名</th><th>厚さ（mm）</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム</td><td>・押出法ポリスチレンフォーム</td><td rowspan="4"></td></tr><tr><td>・硬質ウレタンフォーム</td><td>・フェノールフォーム</td></tr><tr><td>・ロックウール</td><td>・グラスウール</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr></tbody></table> 外装材の種類 ・ <table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th>防火性能</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="2"></td><td></td></tr></tbody></table> 既存外壁の仕上材の撤去 ・有り ・なし 下地面の清掃及び下地調整 ■断熱材製造所の指定する仕様 ・ 通気層 ・有り（ mm ） ・なし 試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける 特記無き事項は、製造所の仕様による。	材科名		厚さ（mm）	・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム		・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム	・ロックウール	・グラスウール					防火性能															
材科名		厚さ（mm）																															
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	・押出法ポリスチレンフォーム																																
・硬質ウレタンフォーム	・フェノールフォーム																																
・ロックウール	・グラスウール																																
		防火性能																															
10ガラス改修工事 [9,4,2]	複層ガラスの厚さ 建具表による 断熱性・日射遮蔽性による区分 ■ ・																																
記事																																	
公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター																																	
係長		係員																															
		縮尺	N/S																														
		図面名：	本館地下1階薬剤部改修工事																														
			改修特記仕様書（6）																														
			特記-06																														

建築工事・電気設備工事・給排水衛生設備工事（衛生）・空調設備工事・昇降機設備工事・別途工事 標準施工区分表
この表は、設計図等で示される一般的工事範囲を補足するもので、異進工事とのとりあい部分についてその施工区分振を示すものである。設計図中に表記があるものは、設計図を優先する。
夫 通

項目		内容	建築	電気	機械 衛生 空調	昇降機	別途	備考	項目	内容	建築	電気	機械 衛生 空調	昇降機	別途	備考	項目	内容	建築	電気	機械 衛生 空調	昇降機	別途	備考					
1	一般事項	(1) 地中障害物除去工事					○		8	点検口、点検扉	(1) 天井点検口	○						15	防災	(1) 煙感知器連動の防火戸・防火シャッターその他の防 災設備の電源・二次側配管・配線及び検出器・制御 盤		○							
		(2) 電線降格調査費		○							工事仮設による降格は、受注者の範囲とする	(2) 各種シャフト点検口	○									(2) 排煙口・ダンパー等とその電源の二次側配管・配線 及び検出器・制御盤		○		○			
		(3) 電線降格対策工事					○				(3) 床点検口	○										(3) 防火戸の自動閉鎖装置及び二次側配管・配線		○					
		(4) 工事上の各種申請に係わる費用	○	○	○	○	○															(4) 防火シャッターの自動閉鎖装置及び二次側配管・配 線		○					
		(5) 環境文化財調査費						○													(5) 消火栓ボックス（ホース・ノズルとも）			○				組込み火報総合盤は電気工事	
		(6) 土壌汚染調査及び対策費						○													(6) ガス漏れ検知器・受信機		○					電気配管・配線・接続含む	
		(7) 近隣対策費						○													(7) ガス緊急遮断弁		○	○				電気配管・配線・接続含む	
		(8) 家屋調査費	○							9	はつり及び補修	(1) 配管のための貫通及び埋込み箇所のはつり及び補修		○	○	○													
2	仮設	(1) 共通足場、作業橋台、揚置置置機械	○						10	排水	(1) 各種床排水金具	○		○					16	コンセント・ 接続穴あけ	(1) フリーアクセスの穴あけ	○							露出しは機械・電気工事
		(2) 各工事用足場作業橋台	○	○	○	○	○				(2) 漏付け流し（人畜石とぎ出し）の排水金具	○										(2) 突換台・溝台（備品）等の穴あけ	○						露出しは機械・電気工事
		(3) 仮設用一歩両入りゲート	○								(3) 外構工事におけるひずみ及びこれに接続する廻り	○																	
		(4) 監督職員事務所	○					備品等含む			(4) 製作流し（含む排水金具）	○	○																
		(5) 受注者事務所、材料置場	○	○	○	○	○				(5) 既製品流し（含む排水金具）	○	○																
		(6) 材料場外処分	○	○	○	○	○				(6) 化粧洗面台	○	○																
		(7) 細雨汚土の場外処分	○								(7) 化粧洗面台に取付く洗面器・排水金物		○																
		(8) 工事用仮設電力・用水						○			無償	(8) 化粧洗面台に取付く電気温水器			○														
		(9) 電力・ガス・水道等の本設後引渡しまでの基本料金						○			試算転用も含む	(9) 化粧マンホール蓋	○	○	○														
		(10) 電力・ガス・水道等の本設後引渡しまでの使用料金						○				(10) 上記以外のマンホール蓋	○																
		(11) 電力・ガス・水道等の本設引込みに伴う負担金						○				(11) プラスチックラップ			○														
3	各種水廻・ビッド （建物と一体構造のもの）	(1) 受水槽・排水槽・汚水槽等でコンクリート造のもの	○						11	雨水排水	(1) ルーフドレイン・オーバーフロー管・中継ドレイン	○						17		各種シャフト	(1) 各種シャフトのうちコンクリート造のもの及びこれ に必要なコンクリート床	○							
		(2) コンクリート造の各種水廻槽場	○								(2) 第一階までの室内配管・排水管	○										(2) 各種シャフトの壁及びこれに必要な床	○						
		(3) コンクリート造の受水槽の入孔蓋(防水型)及びタ ラップ、排水槽・汚水槽等の入孔蓋(防水型)及びタ ラップ	○								(3) 建物外部までの室内部分排水管	○							雨水1次貯留槽または屋外第一階接続まで建築工事。以降衛生工事		(3) 各種シャフトの壁及びこれに必要な床	○	○						
		(4) 最下階便所のビッド、入孔蓋(防水型)及びタラップ	○								(4) 室内部分排水管のうちパイプシャフト内配管の壁	○									(4) 発電機エンジン用排気管								
		(5) 二重床点検口	○								(5) 駐車場、スロープ等の排水溝・排水	○																	
		(6) 二重床内排水管・排水管	○								(6) 配管・雨水管の防護巻き（室内）	○																	
		(7) 二重室内の点検口	○								(7) 外構 雨水用浸透溝・浸透管			○															
		(8) 二重室内の水栓管	○								(8) 外構 上記以外の排水・配管			○															
4	トレンチ・排水溝	(1) 各種トレンチ壁及び入孔蓋・タラップ	○						12	ガレリ	(1) 外置、サッシュに取り付けるガレリ	○							18	昇降機	(1) 昇降機本体及び昇降機扉用三方弁、微閉						○		
		(2) トレンチ内配管等基礎	○	○	○	○		支持する配管の区分による			(2) ドア・ガレリ	○										(2) 昇降機扉付後の出入口壁等の補修						○	
		(3) 室内排水溝及び入孔蓋	○								(3) 電燈等の透光ガレリ	○										(3) 昇降機扉の呼びボタン・インジケータ						○	
5	機器等の基礎 （建物と一体構造のもの）	(1) 機器用基礎（コンクリート打ち）	○						13	動力	(4) 同上接続用金物・防鳥ネット	○								18	昇降機	(4) 昇降機扉の築造、防火区画工事(コンクリート強度は 21N/mm ² 以上とする)	○						
		(2) 屋上水廻の基礎（コンクリート打ち）	○								(5) 外構 雨水用浸透溝・浸透管			○								(5) 昇降機の建築構造の耐火被覆工事	○						
		(3) 二重床下部分の機器用基礎（コンクリート打ち）	○								(6) 外構 上記以外の排水・配管			○								(6) 各種乗降開口工事及び補修工事	○						
		(4) 機器、水廻等のアンカー及び基礎仕上げ	○	○	○	○		基礎仕上げは建築工事			(7) 外構 ひずみ及びこれに接続する廻り	○										(7) 三方弁取付後の調整め工事並びに耐火処理工事	○						
		(5) 医療機器用架台及びアンカーボルト取付	○								(8) レターンガレリ	○										(8) 三方弁取付用アングル設置工事	○						
		(6) 充電機用防油堤	○								(9) 自然排湿用窓及び開放装置	○										(9) 乗場ドア取付用アングル設置工事	○						
		(7) 屋上設備取出口	○																			(10) 乗場表示装置等の取付用下地鋼材の設置工事	○						
		(8) 機器搬出入用フック	○																			(11) 乗場乗降開口及び壁の取付後の取付工事	○						
		(9) 避難計（自立型支持管）取付用基礎	○																			(12) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○						
		(10) 鉄骨梁台上の補強基礎	○			○													(13) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ			○							
6	スリーブ及び補強	(1) 各種配管用スリーブ		○	○	○			14	制御	(1) 一般用動力操作盤及び電動機端子接続までの配管・ 配線		○					18	昇降機		(15) レール取付用アングル設置工事	○							
		(2) ダクト、ガレリ用スリーブ	○			○					(2) ボイラー操作盤及び二次側配管・配線				○						(16) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○							
		(3) 衛生器具（大便器）取付け用箱入れ				○					(3) 冷凍機用動力操作盤及び二次側配管・配線				○					(17) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○								
		(4) 埋込型室内消火栓取付け穴等の箱入れ				○					(4) パッケージ型空調器用電源で手元開閉器以降の配 管・配線		○							(18) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○								
		(5) 分電盤取付け穴等の箱入れ		○							(5) 電動機シャッター・自動ドアとその電源の二次側配 管・配線及び操作盤・呼びボタン取付け	○								(19) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○								
		(6) 各種スリーブの補強	○								(6) ファンコイル送風機用電源等の配管配線		○		○						(20) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○							
		(7) 外置貫通スリーブまわりの防水	○					貫通するもの区分による			(7) 電動機等・電動ブラインド・電動スクリーン・電動 扉板等とその電動装置及び二次側配管・配線		○								(21) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○							
		(8) 床貫通スリーブまわりの防水	○					防水層を貫通する場合			(8) フロアヒーティング用電源及び制御盤		○								(22) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○							
		(9) 貫通穴及びダクト空疎充填		○	○	○															(23) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○							
		(10) 床・壁貫通スリーブ・箱入れ部分の補強	○																		(24) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○							
		(11) 穴電後の仕上げ補修	○																		(25) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○							
		(12) 設備機器のための床・床補強	○																		(26) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○							
		(13) 設備機器取付用ALC版・ブロック等の穴あけ及び 補強・補修	○																	(27) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○								
7	天井切込及び 換気扇取付け枠	(1) 埋込照明器具、スピーカー、空調換気用吸出口等 埋込器具取付けのための天井切込み及び下地補強	○														18	昇降機	(28) 乗場乗降開口の呼びボタン・インジケータ	○						建設省告示第1111号の廃止による			
		(2) 換気扇取付け用枠及び穴あけ	○																(29) エレベーターと防火シャッター等の連動用排気管 の配管・配線の引込工事	○									
																			(30) 昇降機の壁または固いは昇降機室のものとする	○									
																	(31) 昇降機用元フック及び取付工事	○											
															</														

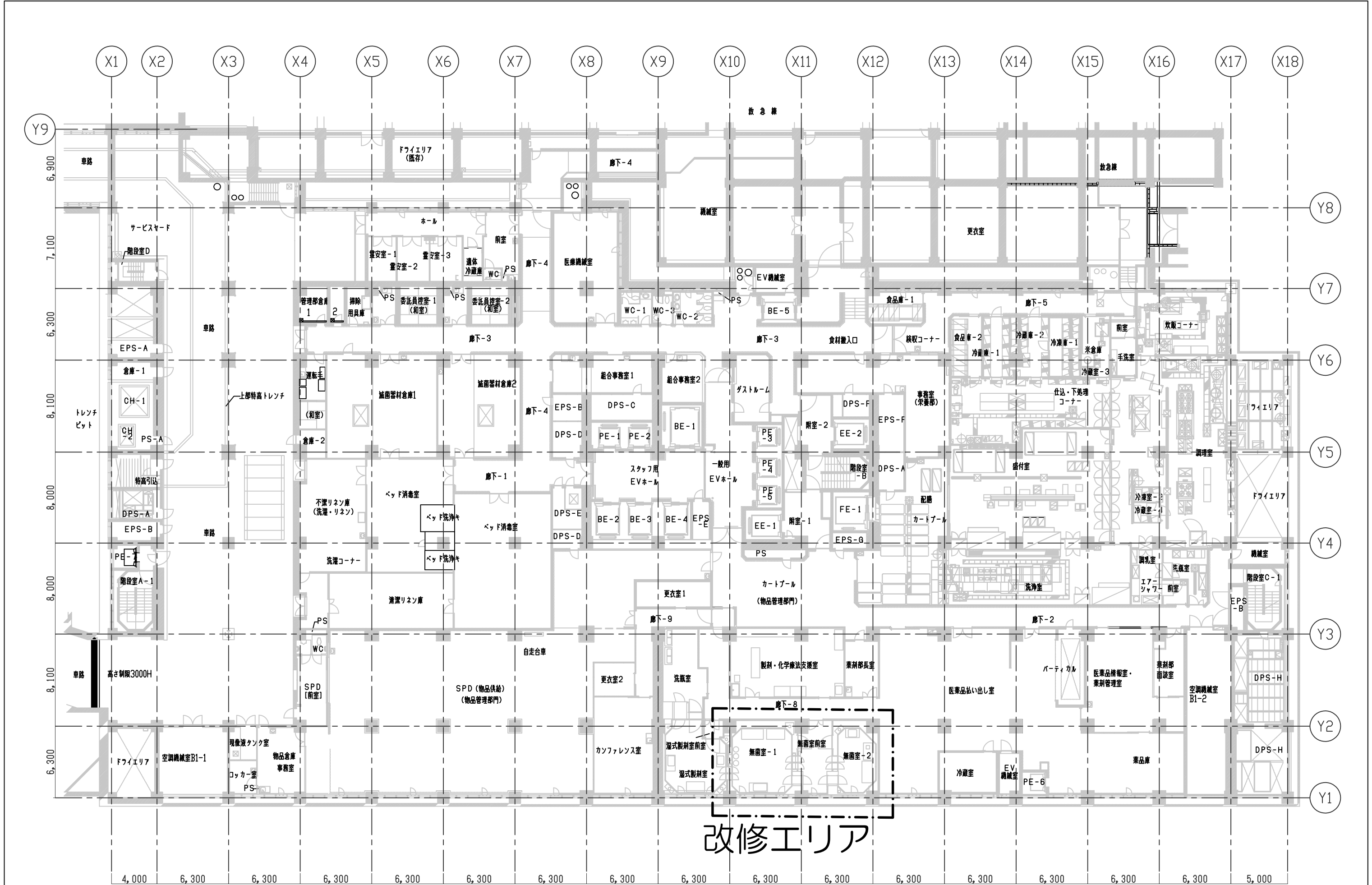
[illegible]

仕上特記事項 特記事項で、数字は全て適用し、※、●、○、□の印の適用は特記仕様書に準ずる。																																																																																																																																																																																														
① 一般事項 ① 図示のない床、壁、巾木、天井、廻縁、建具、屋上及び雨どい、差別詳細、部分詳細、雑詳細、外構に関する部分詳細については、国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修「建築工事標準詳細図」（平成28年度版）を適用する。 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて「横浜市政建設局建築工事特別仕様書」（平成30年6月）による。 ② 「仕上表」の特記なき床下地のうち、躯体レベルと仕上レベルの差が10mm以下の場合はRC掘り打ちの土金ごて仕上とする。 10mmを超える場合は、モルタル金ごて仕上とする。 ③ 「仕上表」の壁仕上欄の記入は表面材のみを示し、下地の仕様・種別については「間仕切壁リスト」と使用範囲については平面・平面詳細図記載の「間仕切符号」を参照のこと。		② 内装工事 ① 間仕切壁（LGS下地）、床へスラブ下までの耐火、遮音、シールド壁は四周及び、縦目処理部にシーリング材（耐火用、遮音用）を施工すること。 ② 一般間仕切壁において別下地が同面となる境及び、壁開口部上には見切材（塩ビ製、ハット型）を入れ仕上材を巻き込むこととする。 ③ 全周又は一部が天井までのガラス貼り入り間仕切壁（P16〜P36、PK16、PK26）で構成された室は、天井裏に 60B t=50、24kg/m ² を敷込むこと。 ④ ビニル床シートは溶接工法とし、下記室の接着剤仕様は耐水工法（エポキシ樹脂接着剤）とする。 【 ※ 靴、湯沸し、脱衣室等水廻り ・ 手荷物置き ・ 病室 ・ ・ ・ ・ ・ 】 ⑤ 階段室内部の塗装又は仕上材は、下地と合わせ不燃となる仕様とする。 ⑥ 床は、引渡し前にワックス仕上げを行い、種類は建物管理者と協議の上決定するものとし、環境対応型を使用すること。 ⑦ ライニングの無い壁に付く洗面器等の壁は、軽量壁下地100形を使用するものとする。 ⑧ DR天井の下張りは6B-R t=12.5、屋外の場合は6B-S t=12.5とする。DRは突付とする。 ⑨ 天井仕上が塗装またはビニルクロスの場合、下地は6B-R t=12.5+6B-NC t=9.5とする。 ⑩ 60Bはテパ（又はベパ）2種とし、縫目、出隅、入隅については乾式目地処理工法により段差なきよう入念に仕上げること。 ⑪ 壁及び天井仕上が60Bへの塗装の場合、目地処理後、寒鈴砂E=100貼りを見込むこと。 ⑫ 60Bは、ガラスクロス巻き製品とし、t=50mm、32kg/m ² とする。留め付材は化粧ボタンス断熱クリップφ300程度とする。 ⑬ 壁60B下地は床仕上面より100mmとし、アルミ押さえ金物を施工すること。 ⑭ 内装タイルの目地材は、抗菌仕様・防汚染仕様とする。入隅および建具取合いはシーリングとする。 ⑮ 使用する材料（仕上、下地材、家具、建具、接着剤、シーリング材等）のホルムアルデヒド発散等級は、全てF☆☆☆☆又は規制対象外品とする。 ⑯ 点検扉のないPSには壁点検口を1箇所取り付けること。位置は監督職員又は監理者との協議による。 ⑰ 特記仕上床仕上の異なる部位の処理は次にによる。また、段差が生じないようにすること。 【 ※ 仕上材突付け ・ 見切材（SUS FB-3x15） 】 ただし、医療福祉施設のうち車椅子、ストレッチャー等の往来が予測される箇所については、上記によらず仕上材突付けとする。 ⑱ 一般間仕切壁において廊下等長い壁面にはφ6,000を目安に見切材（塩ビ製、ハット型）を入れ仕上材を巻き込むこととする。 ・ 床点検口（600角以上）から地下ピット等へ下りる箇所にはSUSタラップ（滑り止め横棒付/φ400）を設けること。 ・ セメント系セルフレベリング材の圧縮強度（接着強度）は1.0N/mm ² 以上を標準とする。ただし、重量物の運搬が行われる箇所等も監督職員との協議の上、必要強度の検証を行い用途に見合った強度のものを採用すること。 ・ クリーンルーム仕様の室の、天井・壁・ボードがKB又は化粧KBの場合ボード目地は6mmとし、廻縁、巾木、壁出隅・入隅部にはアルミ製クリーンルーム用用ボダーを設け、目地、取り合い部はいずれも抗菌シーリングを施すものとする。 ・ クリーンルーム仕様の室の天井点検口は気密仕様とすること。 ・ クリーンルーム以外の室のKB又は化粧KB、セメントボード類で図示のない場合の目地処理は、壁：アルミ製ハット型目地材、天井：目透し（アルミ目地底材の上テーパー貼）とする。出隅部は、アルミコーナー材を使用すること。 ・ 化粧セッコウボード 木目（6B-W）は鋼製裏材付とし、目透し張りとする。 ・ 合板にUC系塗装を施す場合は、下塗りとして薄塗り（色は監督職員の指示による）の上拭き取りを施すこと。 ・ ツヤの適用は次にによる。【◎ 3分ツヤ ・ 半ツヤ消し ・ 7分ツヤ】 ・ ・ ・ ・																																																																																																																																																																																												
2. コンクリート工事 ① 地盤及び土に接するコンクリート打継部には、水膨張性ゴム弾性シール材を設置すること。 ② 「化粧打放コンクリート」「各種塗装」「各種上管仕上塗材」仕上特記のない場合、外部掘り打ち20mm、内部掘り打ち10mmとする。打放面は入念にケレンを行うこと。 ③ 上記の仕上げの場合、壁・柱等立上りの出隅部に面取り（10mm×10mm）を見込むこと。 ④ 「化粧打放コンクリート」仕上の場合、型枠は合板15mmウレタン塗装品とし、小口は塗装タレの無い精度の高い材を使用のこと。 型枠ジョイント部は止水用にパッキンを使用すること。また、型枠緊結金物はコン付のものとし、均等に配置すること。 コンジョはモルタルを充填し、平滑に仕上げること。外部面は図示のない場合、漏れ剤を2回吹付とする。 コンクリートとコンクリートブロックやALCパネル、軽鉄下地との接合部には化粧目地を設けること。目地材は次にによる。 【 目地材： ※ 塩ビ製 ・ ・ ・ ・ ・ 】 【 目地幅： ※ 10 mm ・ ・ ・ ・ ・ mm 】 ⑤ 化粧打放面にジャック、気泡、型枠のはらみ、打継での大幅な色違い、コールドジョイントによる色変り等の不具合等が発見された場合は、監督職員と協議の上、コンクリート保護材S1にて適切に補修すること。） ⑥ 庇、バルコニー、防水立上がりあご（コンクリート持出部）の底部に、水切り目地（15mm×15mm）を設けること。																																																																																																																																																																																														
3. コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 ・ 押出成形セメント板の表面に塗装もしくは吹付けロックウール等を施す場合は、事前にセメント建材用のシーラーを塗布すること。																																																																																																																																																																																														
4. 防水工事 ① 防水下地となるコンクリート面の含水率は8%以下とし、防水工事の施工前に、含水率を測定し、監督職員に報告すること。 ② 防水下地のコンクリートは、金ごて押えにて急に処理すること。 ③ アスファルト防水の押えコンクリートは、t=80以上とし、6φ-100×100のメッシュ筋入りとする。 伸縮目地はエラストイト t=25をφ3,000mm内外で千鳥配置とする。パラペット周りには成形緩衝剤 t=20を設けること。 ・ 地下の外壁それに準ずる外壁は、防水（仕様は下記による）を行うこと。竣工後の漏水は施工者の責任において止水処理を行うこと。 【 ※ 湿式防水シート ・ アスファルトバントナイト防水 ・ ゴムアスファルト吹付 ・ アスファルトシート防水 ・ 図示 】 ※上記で図示される以外の子バは防水シート用を使用のこと。 ・ 地下の外壁コンクリートの打継ぎ部分については、水膨張性ゴム弾性シール材の止水板を敷設すること。 ・ アスファルト防水を施す場合の水勾配はスラブで設けることを原則とする。また、勾配は図示なき限りコンクリート押え1/75以上、露出防水1/60以上を確保すること。																																																																																																																																																																																														
5. 断熱間道工事 ※ 断熱材の種類、厚さは「特記仕様書 19.12」または「改修特記仕様書 6.20」による ① 外気に接する箇所（外壁架型から内部600mmまで又は図示）には断熱材を施すこと。 RC下地の場合でグラスウールボード施工範囲についても、これは別に断熱材を施すこと。 ② 屋上に面するスラブ（内部側）及びベロティ上部床面には断熱材を施すこと。 ※屋上に面するスラブで、防水が外断熱仕様の場合は防水仕様による。 ③ ビット内上部スラブには、断熱材を施すこと。 ④ とい、タテ、配管等貫通部、建具取合部、LGS取合部等に断熱材の欠損がある場合は、ノゾコ湿式断熱材で補修すること。 ⑤ 外壁を貫通する鋼材（地下鉄骨等）の室内側には、ノンフロム湿式断熱材 t=25を結露防止に吹き付けれるものとする。 ⑥ 断熱材を施工する範囲において、必要な断熱性能が連続するように施工し、断熱材の欠損が生じないようにすること。 ⑦ サッシ廻りはモルタル充填（断熱サッシの場合は断熱材を充填）を完全に行なった上、断熱材を枠または鋼線まで施し、断熱材の欠損がないようにすること。 ⑧ 下記の室に断熱材を露出して使用する場合は湿式不燃断熱材とする。 【 ※ 内装制限及び及室内 ・ PS,DS,EPS ・ 電気室 ・ 機械室 ・ ・ ・ ・ ・ 】 ・ 外壁、それに準ずる断熱材の施工範囲以外で、湿潤度差により結露の発生が予想される部位は、結露計算にて施工範囲を示し監督職員の承認を受けること。																																																																																																																																																																																														
6. 左官・塗床工事 ① 床防水が施されている排水溝、排水枥は、モルタル t=30金ごて仕上とする。 ② 下階があり、床防水が施されていない排水溝、排水枥は、モルタル t=30金ごての上、塗床防水塗りメッシュ入り工法とする。 ③ 熱湯の使用が見込まれる前房等の排水溝、排水枥の表面仕上は、高温仕様のFLP-5を使用のこと。 ④ 排水溝の水勾配は1/200以上を確保すること。																																																																																																																																																																																														
7. 金属・とい工事 ① 外部料天井下地は、高耐食溶酸めっき鋼板製、耐風圧仕様とする。 ② 雨水用屋上ドレインは、鋳鉄製とし、同質のストレーナー及びステンレス製ゴ受けカゴ付とする。 ③ 外壁を貫通するといは、スリーブ付排水管を躯体面に打ち込み、周囲をモルタル埋めの上、確部にシーリング材（10×10）を充填すること。 ④ 内部のといの曲がり継手部には配管掃除口を設け、隠蔽される場合は、下記仕様の天井又は壁面点検口（450角）を設けること。 【 ※ 標準フレーム ・ 目地タイプ 】 ⑤ 軽鋼鉄骨壁下地の高さが5mを超える場合、仕上（重量）ごとの強度計算により適切に決定すること。 【 スタッド：WS-100、スタッドピッチ：303、 またはスタッド：鋼網引製作所 50-PowerBar 45100 厚さ○t=1.0 ○t=1.2、スタッドピッチ：○227 ○303 ○455】 また、開口部補強材は□-100×100×2.3または20-100×50×20×2.3とし、開口幅が2mを超える場合には、 吊束□-100×50×20×2.3φ900、振れ止め材：L-65×50×6または□-100×50×20×2.3φ1,800を設置すること。 ・ 外部の鉄材は、溶融亜鉛メッキ処理を施したものとすること。 ・ ビット・免震層の鉄材は、溶融亜鉛メッキ処理を施したものとすること。 ・ 内部のといの仕様は次にによる。 【 ・ 配管用鋼管（白管）防露巻き/継手はネジ込み式 ○ 耐火二層管 】 ・ 外部の壁柱上部は点検できるようパラペット t=30mmまで立上げとし、SUS製メッシュ蓋とする。 ・ アルミパネルで製作する水切り、庇等のジョイントは内補加工もしくはダブルシールとし、漏水の無いようにすること。																																																																																																																																																																																														
		不燃・準不燃・難燃材料等の記号凡例及び認定番号 （製品名・認定番号の記載は同等品以上として扱うこと）																																																																																																																																																																																												
		<table><thead><tr><th>記 号</th><th>名 称</th><th>厚・寸法等</th><th>認定番号</th><th>JIS規格</th><th>特記事項</th></tr></thead><tbody><tr><td>GB-NR</td><td>不燃積層石膏ボード（不燃）</td><td>9,5</td><td>NW-0441・NW-2817</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>GB-R</td><td>石膏ボード（不燃）</td><td>12,5、15</td><td>NW-8619</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>GB-F</td><td>強化石膏ボード（不燃）</td><td>12,5、15、21</td><td>NW-8615</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>GB-R-H</td><td>普通硬質石膏ボード（不燃）【吉野 タイパ-ス-ハット】</td><td>9,5、12,5</td><td>NW-9645・NW-1139</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>GB-R-HH</td><td>普通硬質石膏ボード（不燃）【吉野 タイパ-ス-ハット-C】</td><td>9,5、12,5</td><td>NW-1908・NW-1139</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>GB-X</td><td>鉛蓄打石膏ボード（不燃）</td><td>12,5+2</td><td>NW-8619</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>GB-S</td><td>耐水石膏ボード（不燃）</td><td>12,5</td><td>NW-9639・NW-9346</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>KB</td><td>ケイ酸カルシウム板（不燃）【A&A ハイテックW】</td><td>6、8</td><td>NW-8578</td><td>A5430</td><td></td></tr><tr><td>GB-D</td><td>化粧石膏ボード（不燃）</td><td>9,5</td><td>NW-1864・NW-2816</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>GB-W</td><td>化粧石膏ボード（木目・準不燃）</td><td>9,5</td><td>QW-9824</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>GB-W(不)</td><td>化粧石膏ボード（木目・不燃）</td><td>12,5</td><td>NW-0127</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>GB-DP</td><td>化粧石膏吸音ボード（不燃）【吉野 スクエアトーン・D】</td><td>9,5</td><td>NW-0879</td><td></td><td></td></tr><tr><td>DR</td><td>ロックウール化粧吸音板</td><td>9、12</td><td>NW-8599</td><td>A6901</td><td></td></tr><tr><td>FG</td><td>繊維強化石膏ボード【A&A FGボード】</td><td>6</td><td>NW-9028</td><td></td><td></td></tr><tr><td>MVB</td><td>メラミン不燃化粧板【アエカ セーラル】</td><td>3</td><td>NW-2183</td><td></td><td></td></tr><tr><td>化粧KB</td><td>化粧ケイ酸カルシウム板【A&A ステンダ4500】</td><td>6</td><td>NW-8577</td><td></td><td></td></tr><tr><td>GBW</td><td>グラスウールボード（グラスクロス巻き製品）</td><td>50、100</td><td>NW-8606</td><td>A9504・A6301</td><td></td></tr><tr><td></td><td>ノンフロム湿式断熱材【エスケー化研 セラライトエコB】</td><td>20、30</td><td>NW-0916</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>繊維強化セメント板【三美W フレキシブルボード】</td><td>6,8</td><td>NW-8576</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>セメントボード【チヨダ アクアパネル】</td><td>12,5</td><td>NW-3190</td><td>A5430</td><td></td></tr><tr><td>WVB(不)</td><td>天然木繊維化粧板（不燃）</td><td>6,0</td><td>NW-xxxx</td><td></td><td></td></tr><tr><td>WVB(準不)</td><td>天然木繊維化粧板（準不燃）</td><td>6,0</td><td>QW-xxxx</td><td></td><td></td></tr><tr><td>VS</td><td>化粧塩ビシート</td><td>—</td><td>NW-xxxx</td><td></td><td></td></tr><tr><td>WVS</td><td>化粧塩ビシート（不燃）</td><td>—</td><td>NW-xxxx</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>アルミバリス</td><td>9,5</td><td>NW-0892</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>塗料（不燃）：EP、EP-0、SOP、MMD、FE、WE、AE</td><td></td><td>NW-9816</td><td></td><td>基材不燃</td></tr><tr><td>EP-T</td><td>合成樹脂エマルション模様塗料</td><td></td><td>NW-8585・NW-8572</td><td>K5668</td><td>基材不燃</td></tr><tr><td>VC</td><td>ビニルクロス（不燃）</td><td></td><td>NW-xxxx</td><td></td><td>基材不燃</td></tr><tr><td>VCC(準不)</td><td>ビニルクロス（準不燃）</td><td></td><td>QW-xxxx</td><td></td><td>基材準不燃</td></tr><tr><td>GCP</td><td>グラスクロスペンキ仕上（不燃）【サリテ/ガラスクロス専用塗料】</td><td></td><td>NW-0460・NW-0461</td><td></td><td>基材不燃</td></tr></tbody></table>	記 号	名 称	厚・寸法等	認定番号	JIS規格	特記事項	GB-NR	不燃積層石膏ボード（不燃）	9,5	NW-0441・NW-2817	A6901		GB-R	石膏ボード（不燃）	12,5、15	NW-8619	A6901		GB-F	強化石膏ボード（不燃）	12,5、15、21	NW-8615	A6901		GB-R-H	普通硬質石膏ボード（不燃）【吉野 タイパ-ス-ハット】	9,5、12,5	NW-9645・NW-1139	A6901		GB-R-HH	普通硬質石膏ボード（不燃）【吉野 タイパ-ス-ハット-C】	9,5、12,5	NW-1908・NW-1139	A6901		GB-X	鉛蓄打石膏ボード（不燃）	12,5+2	NW-8619	A6901		GB-S	耐水石膏ボード（不燃）	12,5	NW-9639・NW-9346	A6901		KB	ケイ酸カルシウム板（不燃）【A&A ハイテックW】	6、8	NW-8578	A5430		GB-D	化粧石膏ボード（不燃）	9,5	NW-1864・NW-2816	A6901		GB-W	化粧石膏ボード（木目・準不燃）	9,5	QW-9824	A6901		GB-W(不)	化粧石膏ボード（木目・不燃）	12,5	NW-0127	A6901		GB-DP	化粧石膏吸音ボード（不燃）【吉野 スクエアトーン・D】	9,5	NW-0879			DR	ロックウール化粧吸音板	9、12	NW-8599	A6901		FG	繊維強化石膏ボード【A&A FGボード】	6	NW-9028			MVB	メラミン不燃化粧板【アエカ セーラル】	3	NW-2183			化粧KB	化粧ケイ酸カルシウム板【A&A ステンダ4500】	6	NW-8577			GBW	グラスウールボード（グラスクロス巻き製品）	50、100	NW-8606	A9504・A6301			ノンフロム湿式断熱材【エスケー化研 セラライトエコB】	20、30	NW-0916				繊維強化セメント板【三美W フレキシブルボード】	6,8	NW-8576				セメントボード【チヨダ アクアパネル】	12,5	NW-3190	A5430		WVB(不)	天然木繊維化粧板（不燃）	6,0	NW-xxxx			WVB(準不)	天然木繊維化粧板（準不燃）	6,0	QW-xxxx			VS	化粧塩ビシート	—	NW-xxxx			WVS	化粧塩ビシート（不燃）	—	NW-xxxx				アルミバリス	9,5	NW-0892				塗料（不燃）：EP、EP-0、SOP、MMD、FE、WE、AE		NW-9816		基材不燃	EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料		NW-8585・NW-8572	K5668	基材不燃	VC	ビニルクロス（不燃）		NW-xxxx		基材不燃	VCC(準不)	ビニルクロス（準不燃）		QW-xxxx		基材準不燃	GCP	グラスクロスペンキ仕上（不燃）【サリテ/ガラスクロス専用塗料】		NW-0460・NW-0461		基材不燃		係 長
記 号	名 称	厚・寸法等	認定番号	JIS規格	特記事項																																																																																																																																																																																									
GB-NR	不燃積層石膏ボード（不燃）	9,5	NW-0441・NW-2817	A6901																																																																																																																																																																																										
GB-R	石膏ボード（不燃）	12,5、15	NW-8619	A6901																																																																																																																																																																																										
GB-F	強化石膏ボード（不燃）	12,5、15、21	NW-8615	A6901																																																																																																																																																																																										
GB-R-H	普通硬質石膏ボード（不燃）【吉野 タイパ-ス-ハット】	9,5、12,5	NW-9645・NW-1139	A6901																																																																																																																																																																																										
GB-R-HH	普通硬質石膏ボード（不燃）【吉野 タイパ-ス-ハット-C】	9,5、12,5	NW-1908・NW-1139	A6901																																																																																																																																																																																										
GB-X	鉛蓄打石膏ボード（不燃）	12,5+2	NW-8619	A6901																																																																																																																																																																																										
GB-S	耐水石膏ボード（不燃）	12,5	NW-9639・NW-9346	A6901																																																																																																																																																																																										
KB	ケイ酸カルシウム板（不燃）【A&A ハイテックW】	6、8	NW-8578	A5430																																																																																																																																																																																										
GB-D	化粧石膏ボード（不燃）	9,5	NW-1864・NW-2816	A6901																																																																																																																																																																																										
GB-W	化粧石膏ボード（木目・準不燃）	9,5	QW-9824	A6901																																																																																																																																																																																										
GB-W(不)	化粧石膏ボード（木目・不燃）	12,5	NW-0127	A6901																																																																																																																																																																																										
GB-DP	化粧石膏吸音ボード（不燃）【吉野 スクエアトーン・D】	9,5	NW-0879																																																																																																																																																																																											
DR	ロックウール化粧吸音板	9、12	NW-8599	A6901																																																																																																																																																																																										
FG	繊維強化石膏ボード【A&A FGボード】	6	NW-9028																																																																																																																																																																																											
MVB	メラミン不燃化粧板【アエカ セーラル】	3	NW-2183																																																																																																																																																																																											
化粧KB	化粧ケイ酸カルシウム板【A&A ステンダ4500】	6	NW-8577																																																																																																																																																																																											
GBW	グラスウールボード（グラスクロス巻き製品）	50、100	NW-8606	A9504・A6301																																																																																																																																																																																										
	ノンフロム湿式断熱材【エスケー化研 セラライトエコB】	20、30	NW-0916																																																																																																																																																																																											
	繊維強化セメント板【三美W フレキシブルボード】	6,8	NW-8576																																																																																																																																																																																											
	セメントボード【チヨダ アクアパネル】	12,5	NW-3190	A5430																																																																																																																																																																																										
WVB(不)	天然木繊維化粧板（不燃）	6,0	NW-xxxx																																																																																																																																																																																											
WVB(準不)	天然木繊維化粧板（準不燃）	6,0	QW-xxxx																																																																																																																																																																																											
VS	化粧塩ビシート	—	NW-xxxx																																																																																																																																																																																											
WVS	化粧塩ビシート（不燃）	—	NW-xxxx																																																																																																																																																																																											
	アルミバリス	9,5	NW-0892																																																																																																																																																																																											
	塗料（不燃）：EP、EP-0、SOP、MMD、FE、WE、AE		NW-9816		基材不燃																																																																																																																																																																																									
EP-T	合成樹脂エマルション模様塗料		NW-8585・NW-8572	K5668	基材不燃																																																																																																																																																																																									
VC	ビニルクロス（不燃）		NW-xxxx		基材不燃																																																																																																																																																																																									
VCC(準不)	ビニルクロス（準不燃）		QW-xxxx		基材準不燃																																																																																																																																																																																									
GCP	グラスクロスペンキ仕上（不燃）【サリテ/ガラスクロス専用塗料】		NW-0460・NW-0461		基材不燃																																																																																																																																																																																									
記 事		公立大学法人 横浜市立大学附属			YU																																																																																																																																																																																									
		市民総合医療センター																																																																																																																																																																																												

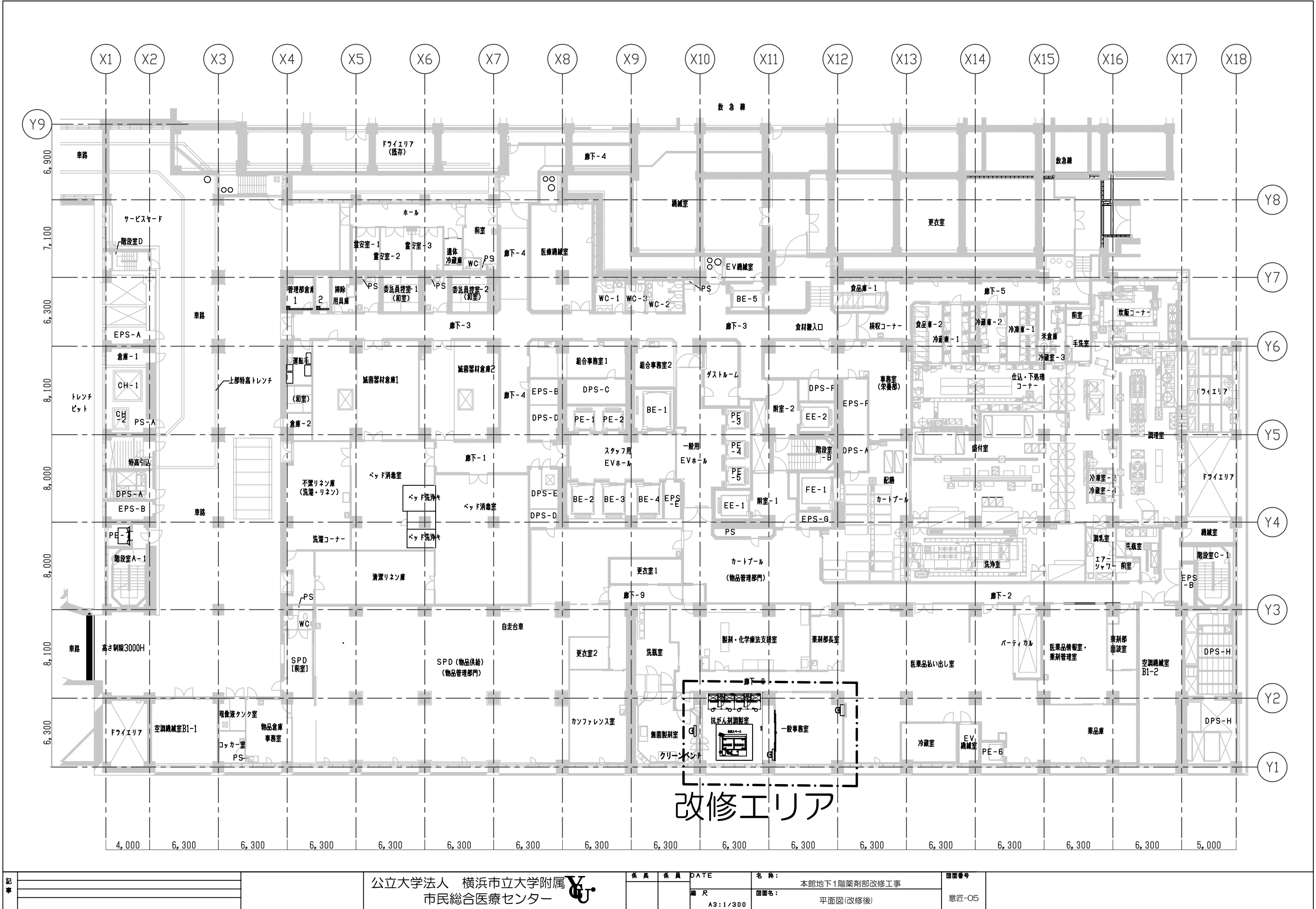
耐火時間指定				一般記号凡例						
指 定		●●階～●●階 (最上階から15以上の階)	●●階～●●階 (最上階から9～14までの階)	●●階～●●階 (最上階から1～4までの階)	記 号	名 称	記 号	名 称		
壁	廊仕切（耐力壁）	2時間	2時間	1時間	W	幅	St	スチール		
	廊仕切（耐火）	1時間	1時間	1時間	L	長さ	SUS	ステンレス		
	耐力壁	2時間	2時間	1時間	D	奥行	AL	アルミニウム		
	外壁	延焼線内	1時間	1時間	1時間	H	高さ	SS	スチール重量シャッター	
		力壁	延焼線外	30分	30分	φ	直径	LS	スチール軽量シャッター	
		柱	3時間	2時間	1時間	R	半径	SP	スチールパーティション（可動廊仕切）	
	床	2時間	2時間	1時間	Q	間隔	MP	スライディングウォール（移動廊仕切）		
	梁	3時間	2時間	1時間	t	厚さ	PL	プレート		
屋根一部	30分	30分	30分	CH	天井高さ	FB	金属平鋼（フラットバー）			
階段	30分	30分	30分	FL	基準床面（床仕上レベル）	FA	フリースペースフロア			
		30分	30分	30分	QL	基準地盤面	SF	乾式遮音二重床		
耐火構造仕様・耐火認定				B,M	ベンチマーク	A防	アスファルト防水			
柱・梁	RC造	平成12年建設省告示第1399号			RC	鉄筋コンクリート	M防	モルタル防水		
	S造 耐火被覆	耐火時間	1時間（厚さ）		ALC	軽量気泡コンクリートパネル（ALC板）	S防	シート防水		
		吹付け ロックウール	耐火（t=25） 柱：FP060CN-9460 梁：FP060BM-9408 PC合成耐火（t=25） 柱：FP060CN-9465 梁：FP060BM-9407 ALC合成耐火（t=25） 柱：FP060CN-9458 梁：FP060BM-9406 EOP合成耐火（t=25） 柱：FP060CN-9200(9203) 梁：FP060BM-9171(9172)	2時間（厚さ） 耐火（t=45） 柱：FP120CN-9463 梁：FP120BM-9411 PC合成耐火（t=45） 柱：FP120CN-9462 梁：FP120BM-9410 ALC合成耐火（t=45） 柱：FP120CN-9461 梁：FP120BM-9409 EOP合成耐火（t=45） 柱：FP120CN-9240(9234) 梁：FP120BM-9208(9204)	3時間（厚さ） 耐火（t=60） 柱：FP180CN-9466 梁：FP180BM-9414 PC合成耐火（t=60） 柱：FP180CN-9465 梁：FP180BM-9413 ALC合成耐火（t=60） 柱：FP180CN-9464 梁：FP180BM-9412	PC	プレキャストコンクリート	塗防	塗膜防水	
			EOP	押出成形セメント板	布防	塗布防水				
	巻付材 単体一部のみ記載	鋼管柱：FP060CN-0081(20) 鋼管柱小部材：FP060CN-9390(40) H 柱：FP060CN-0095(20) H 柱小部材：FP060CN-9392(40) H 梁：FP060BM-0009(20) H 梁小部材：FP060BM-0047(20) 上記以外：	鋼管柱：FP120CN-0157(40) 鋼管柱小部材：FP120CN-0203(60) H 柱：FP120CN-0007(40) H 柱小部材：FP120CN-0243(40) H 梁：FP120BM-0010(20) H 梁小部材：FP120BM-0253(60) 上記以外：	鋼管柱：FP180CN-0088(60) H 梁：FP180BM-0255(65)	CB	コンクリートブロック	V	塩ビ		
		耐火塗料	鉄骨柱：FP060CN-9472(0.75～4.50) ：FP060CN-9402 H 梁：FP060BM-9419(1.00～2.50) ：FP060BM-9347	鋼管柱：FP120CN-0195(3.00) ：FP120CN-0224(4.50) H 柱：FP120CN-0434 H 柱：FP120CN-0435 H 梁：FP120CN-0181(3.70) H 梁：FP120CN-0263		NC	嵩上コンクリート（普通コンクリート）	FLP	塗り床	
	RC造	平成12年建設省告示第1399号			Sレベ	セルフレベルング	RD	ルーフドレイン		
	EOP (押出成形セメント板)	ノゾワ： 外壁耐火1時間(t=60) FP060NE-9035(縦張)、FP060NE-9036(横張) 間仕切壁耐火1時間(t=60) FP060NP-9240 アイカテック建材：外壁耐火1時間(t=60) FP060NE-9037(縦張)、FP060NE-9038(横張) 間仕切壁耐火1時間(t=60) FP060NP-9070			LGS	軽量鉄骨	DP	とい		
	ALC板	外壁・間仕切壁耐火1時間(t=75以上) 平成12年建設省告示第1399号 (t=50の場合：外壁・FP060NC-9293 間仕切壁・FP060DP-9012)			M	モルタル				
	PC板	外壁・間仕切壁耐火1時間(t=70以上) 平成12年建設省告示第1399号			詳細図呼出符号					
	軽鉄組仕切	防火区画壁および防火上主要な間仕切壁は、間仕切壁リストのうち、頭符号Tのものを使用（認定番号図示）			←詳細記号 ←詳細番号					
	床	RC造	平成12年建設省告示第1399号			種 別	表示記号	呼出記号	種 別	表示記号
ALC板		床耐火1時間(t=100以上) FP060FL-9119 床耐火2時間(t=120以上) FP120FL-9120			一般廊仕切壁	壁符号	壁符号は廊仕切壁による	縦型4ヶ所1列(TRD)	TBD	TRD150φ
RC造		平成12年建設省告示第1399号			コンクリート(柱・壁)	[1/50以上]		中継トイン(CRD)	CRD	CRD150φ
		ALC板	屋根耐火0.5時間(t=75以上) 平成12年建設省告示第1399号 (t=50の場合：FP03ORF-9320)			プレキャストコンクリート(PC)	[1/50以上]	PC	横型4ヶ所1列(YRD)	YRD
屋根	金属版葺き	屋根耐火0.5時間 FP03ORF-XXXX			軽量気泡コンクリートパネル(ALC)	[1/50以上]	ALC	壁巻(DP)	DP	DP150φ
	RC造	平成12年建設省告示第1399号			押出成形セメント板(EOP)	[1/50以上]	EOP	オーバーフロー管	OF	OF50φ
		ALC板	屋根耐火0.5時間 FP03ORF-XXXX			コンクリートブロック(CB)	[1/50以上]	CB	横引き雨水管(天井内)	150φ
	階段	RC造	平成12年建設省告示第1399号			軽量鉄骨下地			横引き雨水管(床下)	床下150φ
塗料・塗装 記号凡例	S造	平成12年建設省告示第1399号			スチールパーティション(可動廊仕切)	SP		スライディングウォール(移動廊仕切)	MP	
	RC造	平成12年建設省告示第1399号			シャッター	SS				
	ALC板	屋根耐火0.5時間(t=75以上) 平成12年建設省告示第1399号 (t=50の場合：FP03ORF-9320)			石材	[1/20以上]		点滴フック	f	
	金属版葺き	屋根耐火0.5時間 FP03ORF-XXXX			吸音材	[1/20以上]		点滴レール	Tr	
	RC造	平成12年建設省告示第1399号			断熱材	[1/20以上]		壁面保護材		
	S造	平成12年建設省告示第1399号						壁面台車摺	Dg	
	塗料・塗装 記号凡例				塗床・塗膜防水・塗布防水 記号凡例					
	記号	名 称			記号	名 称				
	SOP	合成樹脂適合ペイント塗り			FLP-1	ケイ酸塩系コグナト表面強化材(一般設備内外・FA下等・駐車場) 鋼ABC適合 リリケートハードナーJW同等品				
	CL	クリアラッカー塗り			FLP-2	薄膜型溶剤形アクリル樹脂系防塵塗料(一般機械室等) 鋼ABC適合 カラトップH同等品				
	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り			FLP-3	厚膜型1K・2K樹脂系塗料(検査室・実験室・廃棄物置場等) 鋼ABC適合 ケミクリートE流しのベスト工法同等品				
	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り			FLP-4	厚膜型1K・2K樹脂系塗料(厨房内一般部等) 鋼ABC適合 ケミクリートE流しのベスト工法同等品				
VE	塩化ビニル樹脂エナメル塗り			FLP-5	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
AE	アクリル樹脂エナメル塗り			FLP-6	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗り			FLP-7	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り			FLP-7	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
EP-G	ツヤ有合成樹脂エマルジョンペイント塗り			FLP-7	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り			FLP-7	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
EP-M	多彩模様塗料塗り			FLP-7	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り			FLP-7	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
UC	木部ウレタン樹脂ワニス塗り			FLP-7	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
US	木部オイルステイン塗り			FLP-7	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
WP	木部保護塗料塗り			FLP-7	厚膜型水性珪酸系塗料(厨房内前熱部・低温調理部等) 鋼ABC適合 タフクリートWH(t=6.0mm)同等品					
MP	マステック塗料塗り			塗防A	ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 (絶縁工法)					
UE	ポリウレタン樹脂エナメル塗り			塗防B	ウレタンゴム系塗膜防水 X-2 (密着工法)					
XE	エポキシ樹脂エナメル塗り			塗防C	エチレン樹脂ビニル樹脂系塗膜防水(屋内・開口部廻り/ハットコなし)					
FU	フッ素樹脂塗装				大貫化学工業 鋼 バラデックス A-1工法同等品					
AEB	アクリル樹脂エナメル焼付塗装			塗防D	エチレン樹脂ビニル樹脂系塗膜防水(A'・B2C、A'・小・屋・A'・外・天・等)					
FUB	フッ素樹脂エナメル焼付塗装				大貫化学工業 鋼 バラデックス A-2工法同等品					
UEB	ウレタン樹脂エナメル焼付塗装			塗防E	エチレン樹脂ビニル樹脂系塗膜防水(一般水溝・排水溝・EVピット・地下内外壁等)					
DP-F	フッ素樹脂耐候性塗料塗り				大貫化学工業 鋼 バラデックス B-2工法同等品					
DP-A	アクリルシリコン樹脂耐候性塗料塗り			塗防F	エチレン樹脂ビニル樹脂系塗膜防水(廃液処理・汚水溝等)					
DP-P	ポリウレタン樹脂耐候性塗料塗り				大貫化学工業 鋼 バラデックス B-4工法同等品					
				布防A	ケイ酸塩系塗布防水(地下二重壁内壁等)					
				布防B	保土ヶ谷パンデックス建材 鋼 バンデックス S工法					
					保土ヶ谷パンデックス建材 鋼 バンデックス SH工法					
係 員	DATE	名 称:		図面番号						
		本館地下1階薬剤部改修工事								
縮 尺	図面名:	仕上特記・記号凡例(1)		意匠-O1						
NS										

間仕切壁リスト符号凡例および共通事項 (部位毎の種類別は平面図又は断面詳細図に符号を図示)		P1 P10 (簡易遮音)	P2 (片側耐衝撃) P20 (上記+簡易遮音)	P3 (両側耐衝撃) P30 (上記+簡易遮音)	P4 P40 (簡易遮音)	P5 (片側耐衝撃) P50 (上記+簡易遮音)	P6 (両側耐衝撃) P60 (上記+簡易遮音)	P7 P70 (簡易遮音)
P : 一般間仕切壁 ボード両面張り PK : 一般間仕切壁 ボード片面張り T : 耐火間仕切壁 ボード両面張り (耐火認定番号図示) TK : 耐火間仕切壁 ボード片面張り (耐火認定番号図示) TS : 耐火・遮音間仕切壁 (耐火認定番号、遮音性能、遮音認定番号図示) 0 : グラスウール充填 (簡易遮音・特記なき限り t=50mm、24kg/m ²) X : X線遮蔽間仕切壁								
末尾に X がつく間仕切り符号 (X線遮蔽間仕切壁)								
①各間仕切り符号の末尾に X が付くものは、X線遮蔽間仕切壁とし、放射線通過率にOB-X t=15.5 を上張りする。 ②PまたはPK符号の一般間仕切壁の場合、上張ボードをOB-Xに置き換えるものとする。(耐火壁は増し張り) ③特記なき限り鉛厚は3mm、45kg/m ² から天井裏300mmまでとする。								
間仕切壁リスト図中 印 表記のあるボードの取り扱い								
①仕上において、壁仕上はメラミン不燃化粧板・化粧X・天然木縁付化粧板で総面が天井までの場合、または下地ボードがOB-S・XBの場合は、当該上張りボードは無しとする。 ②上記壁仕上総面が天井より低い場合(簾壁等)は増し張りとする。(仕上り寸法は仕上表による)								
Y(1時間耐火)		T10(上記+簡易遮音)	T2(1時間耐火・目透かし工法) T20(上記+簡易遮音)	T3(1時間耐火・耐衝撃) T30(上記+簡易遮音)	T4(1時間耐火・耐衝撃・目透かし工法) T40(上記+簡易遮音)	TS1(1時間耐火遮音間仕切壁) 遮音性能: TLD -44	TS2(1時間耐火遮音間仕切壁) 遮音性能: TLD -50	TS3(1時間耐火遮音間仕切壁・耐衝撃) 遮音性能: TLD -45
TK1(片面張り1時間耐火)		TK2(片面張り1時間耐火・片側耐衝撃)						
記		公立大学法人 横浜市立大学附属						図面番号
事		市民総合医療センター						意匠-O2
		係長 係員 DATE 名称: 本館地下1階薬剤部改修工事						
		縮尺 図面名: 仕上特記・記号凡例(2)						
		A1: 1/5 A3: 1/10						

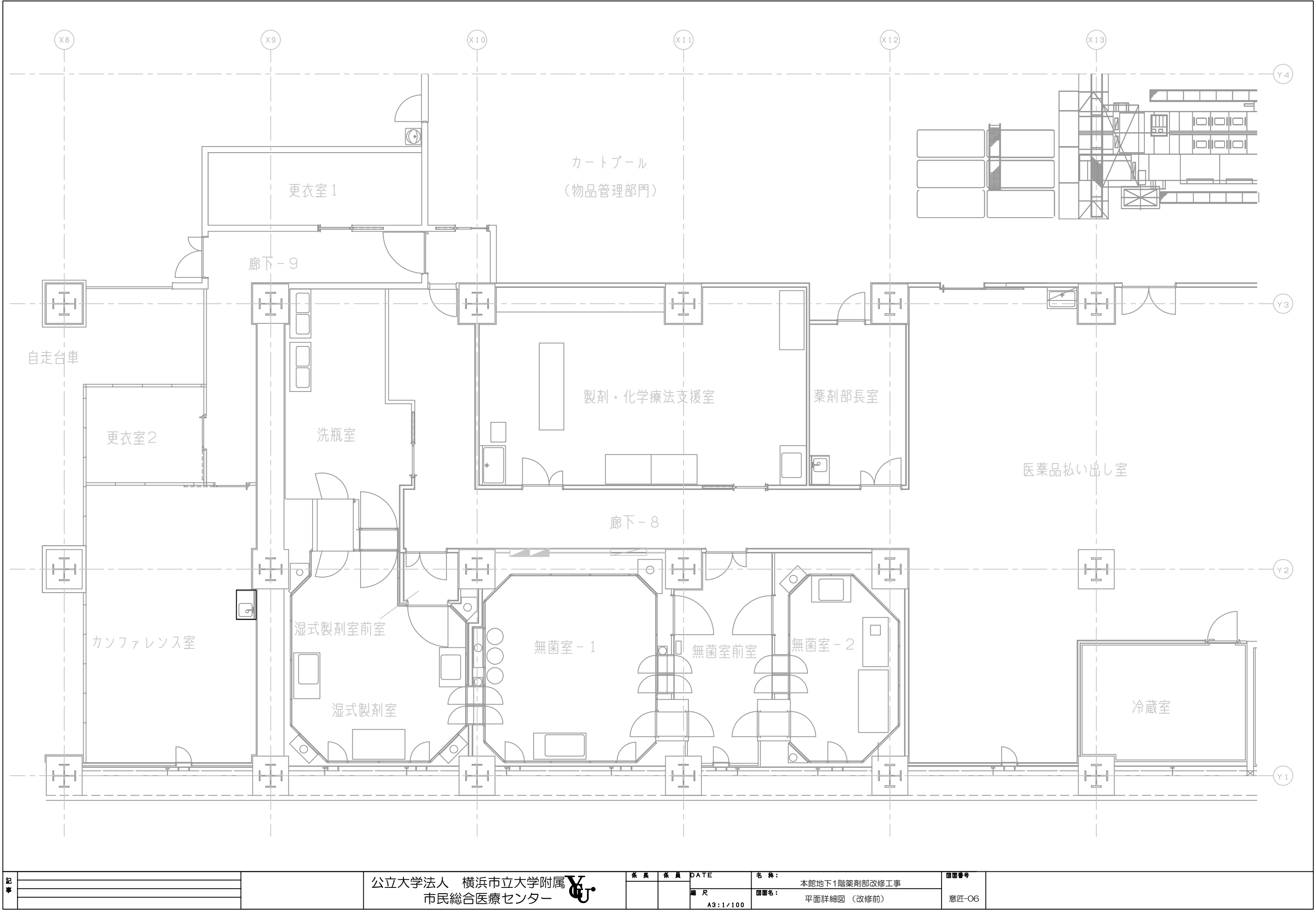
天 井		※部位名の右脇（ ）書きの場合は、既存のエレメントを示す		天井		※部位名の右脇（ ）書きの場合は、既存のエレメントを示す		天井		※部位名の右脇（ ）書きの場合は、既存のエレメントを示す	
		一般天井下地				一般天井下地				一般天井下地	
※アルミスパンデルの仕上は仕上表による。 ※外部軒天井・大規模空間の鋼製下地は特記特記による。		※天井表面仕上げは仕上表による。		※アルミスパンデルの仕上は仕上表による。 ※外部軒天井・大規模空間の鋼製下地は特記特記による。		※天井表面仕上げは仕上表による。		※アルミスパンデルの仕上は仕上表による。 ※外部軒天井・大規模空間の鋼製下地は特記特記による。		※天井表面仕上げは仕上表による。	
アルミバリスブ（既存水池庫室）				アルミバリスブ（既存水池庫室）				アルミバリスブ（既存水池庫室）			
※鋼製下地は高耐食溶融めっき鋼板製とする。				※鋼製下地は高耐食溶融めっき鋼板製とする。				※鋼製下地は高耐食溶融めっき鋼板製とする。			
壁		※部位名の右脇（ ）書きの場合は、既存のエレメントを示す		壁		※部位名の右脇（ ）書きの場合は、既存のエレメントを示す		壁		※部位名の右脇（ ）書きの場合は、既存のエレメントを示す	
防水立上げ		天然木練付化粧板（WB） メラミン不燃化粧板（WB）		防水立上げ		天然木練付化粧板（WB） メラミン不燃化粧板（WB）		防水立上げ		天然木練付化粧板（WB） メラミン不燃化粧板（WB）	
		RC下地				RC下地				RC下地	
※H寸法は仕上表による。 ※耐火間仕切りの場合は、T2又はT4とする。		※耐火間仕切りの場合は、T2又はT4とする。		※H寸法は仕上表による。 ※耐火間仕切りの場合は、T2又はT4とする。		※耐火間仕切りの場合は、T2又はT4とする。		※H寸法は仕上表による。 ※耐火間仕切りの場合は、T2又はT4とする。		※耐火間仕切りの場合は、T2又はT4とする。	
床		※部位名の右脇（ ）書きの場合は、既存のエレメントを示す		床		※部位名の右脇（ ）書きの場合は、既存のエレメントを示す		床		※部位名の右脇（ ）書きの場合は、既存のエレメントを示す	
NC床下地		断熱浮き床		NC床下地		断熱浮き床		NC床下地		断熱浮き床	
		仕上は仕上表による 断熱均し金ゴテ押え（0.10/100角） 断熱フィルム 断熱グラスウールボード（96kg/m³） t25×2枚 目地モルタル15×15 t3、0.00				仕上は仕上表による 断熱均し金ゴテ押え（0.10/100角） 断熱フィルム 断熱グラスウールボード（96kg/m³） t25×2枚 目地モルタル15×15 t3、0.00				仕上は仕上表による 断熱均し金ゴテ押え（0.10/100角） 断熱フィルム 断熱グラスウールボード（96kg/m³） t25×2枚 目地モルタル15×15 t3、0.00	
※H寸法は仕上表による。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。	
A防+NC床下地		床暖房		A防+NC床下地		床暖房		A防+NC床下地		床暖房	
		仕上は仕上表による モルタル（仕上がタイルの場合のみ） NC80mm（モルタルがない場合は金ゴテ押え） （クエイクメッシュ5φ、100角） アスファルト防水層				仕上は仕上表による モルタル（仕上がタイルの場合のみ） NC80mm（モルタルがない場合は金ゴテ押え） （クエイクメッシュ5φ、100角） アスファルト防水層				仕上は仕上表による モルタル（仕上がタイルの場合のみ） NC80mm（モルタルがない場合は金ゴテ押え） （クエイクメッシュ5φ、100角） アスファルト防水層	
※H寸法は仕上表による。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。	
防振浮き床（防水仕様）		木床組		防振浮き床（防水仕様）		木床組		防振浮き床（防水仕様）		木床組	
		仕上は仕上表による 断熱均し金ゴテ押え（0.10/100角） 断熱フィルム 断熱グラスウールボード（96kg/m³） t25×2枚 目地モルタル15×15 t3、0.00				仕上は仕上表による 断熱均し金ゴテ押え（0.10/100角） 断熱フィルム 断熱グラスウールボード（96kg/m³） t25×2枚 目地モルタル15×15 t3、0.00				仕上は仕上表による 断熱均し金ゴテ押え（0.10/100角） 断熱フィルム 断熱グラスウールボード（96kg/m³） t25×2枚 目地モルタル15×15 t3、0.00	
※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。	
0A-1（既存各所0A床部）		0A-2		0A-1（既存各所0A床部）		0A-2		0A-1（既存各所0A床部）		0A-2	
		仕上は仕上表による 断熱均し金ゴテ押え（0.10/100角） 断熱フィルム 断熱グラスウールボード（96kg/m³） t25×2枚 目地モルタル15×15 t3、0.00				仕上は仕上表による 断熱均し金ゴテ押え（0.10/100角） 断熱フィルム 断熱グラスウールボード（96kg/m³） t25×2枚 目地モルタル15×15 t3、0.00				仕上は仕上表による 断熱均し金ゴテ押え（0.10/100角） 断熱フィルム 断熱グラスウールボード（96kg/m³） t25×2枚 目地モルタル15×15 t3、0.00	
※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。		※H寸法は仕上表による。 ※床仕上が塗床の場合の目地は、樹脂シリンクとすること。	
新設仕上材料表（製品名の記載は同等以上として扱うこと）		新設仕上材料表（製品名の記載は同等以上として扱うこと）		新設仕上材料表（製品名の記載は同等以上として扱うこと）		新設仕上材料表（製品名の記載は同等以上として扱うこと）		新設仕上材料表（製品名の記載は同等以上として扱うこと）		新設仕上材料表（製品名の記載は同等以上として扱うこと）	
部位		名 称		仕 様		備 考		部位		名 称	
床		VS（A）		移動荷重性、帯電防止性、耐薬品性 機能型ビニル床シート t2.0		タジマ 移動荷重用フロア 同等品 ※床下地表面強化を施すこと		VS（B）		抗薬性、衝撃吸収、重歩行 発泡樹脂ビニル床シート HS t2.8	
		VS（C）		耐薬品性、帯電防止性、抗菌性 機能型ビニル床シート t2.0		タジマ 347707・W0Ⅱ 同等品		ビニル床タイル（B）		重載型ビニル床タイル F O A	
						タジマ レイフタイル L F -2000 同等品					
床補修		VS（A）用床補修材		エポキシ系プライマー 骨材入り左官下地材		タジマ 耐重床ハードナー 同等品					
巾木		ビニル巾木		Rあり R75mm		タジマ ソフト巾木 同等品					
壁天井		V0（ビニルクロス）		防火認定品、汚れ防止・消臭タイプ		サンゲツ 不燃認定壁紙 同等品		化粧ケイカル板		施設 t6（無石棉）	
						A&A M ステンド #500 同等品					
天井		DR		ロックウール化粧吸音板 t12		吉野石膏 ソーラートン平板 同等品		GB-D		化粧石膏ボード（平織） t8.5	
						吉野石膏 ソーラートン平板 同等品					
床		0A-1		乾式遮音二重床		フクビ化学工業㈱ 遮音ブラホレン工法					
										</	

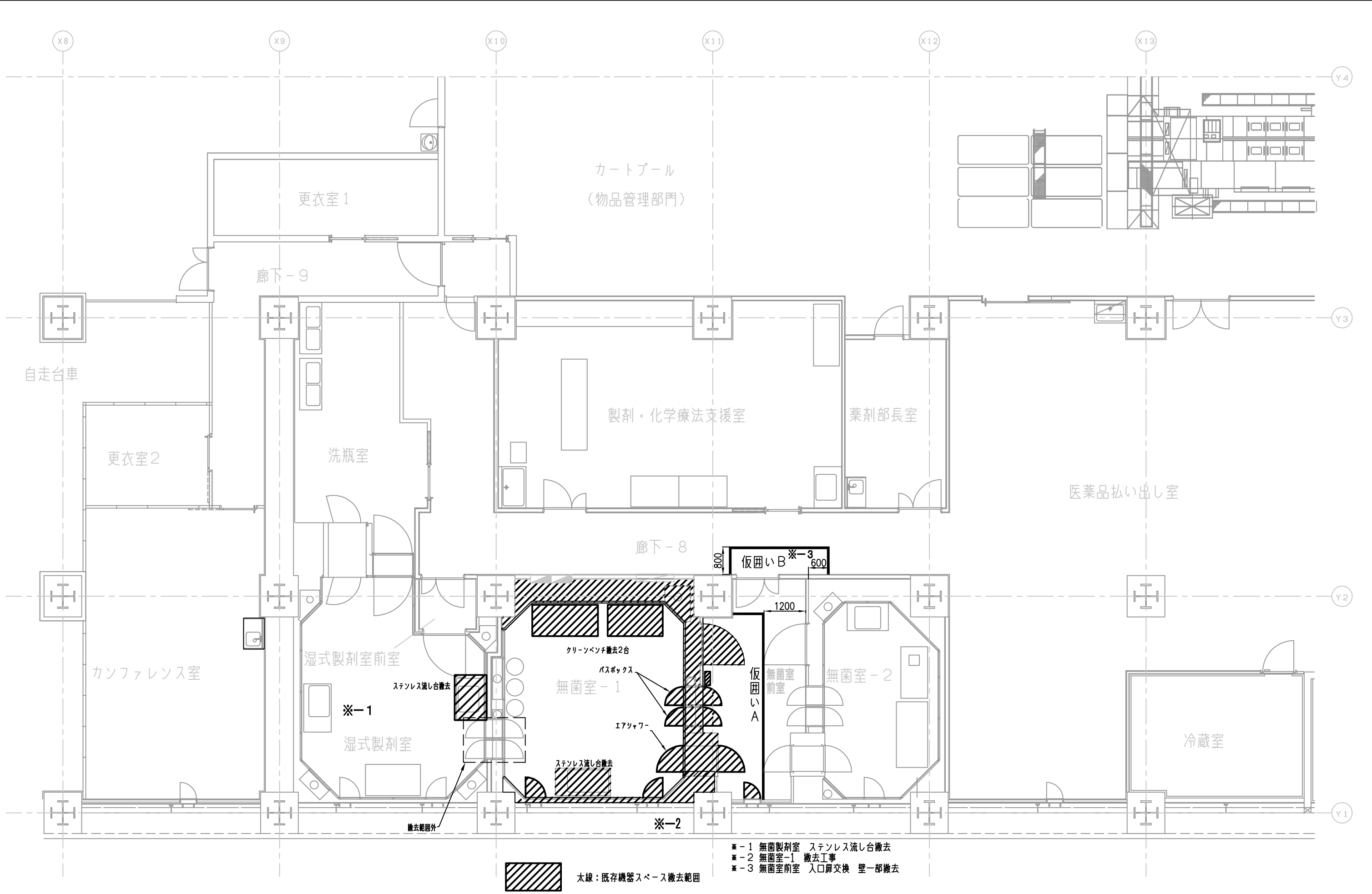


記事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター		係長	係員	DATE	名 称:	図面番号	
						本館地下1階薬剤部改修工事	意匠-04		
					縮 尺 A3:1/300	図面名: 平面図(改修前)			

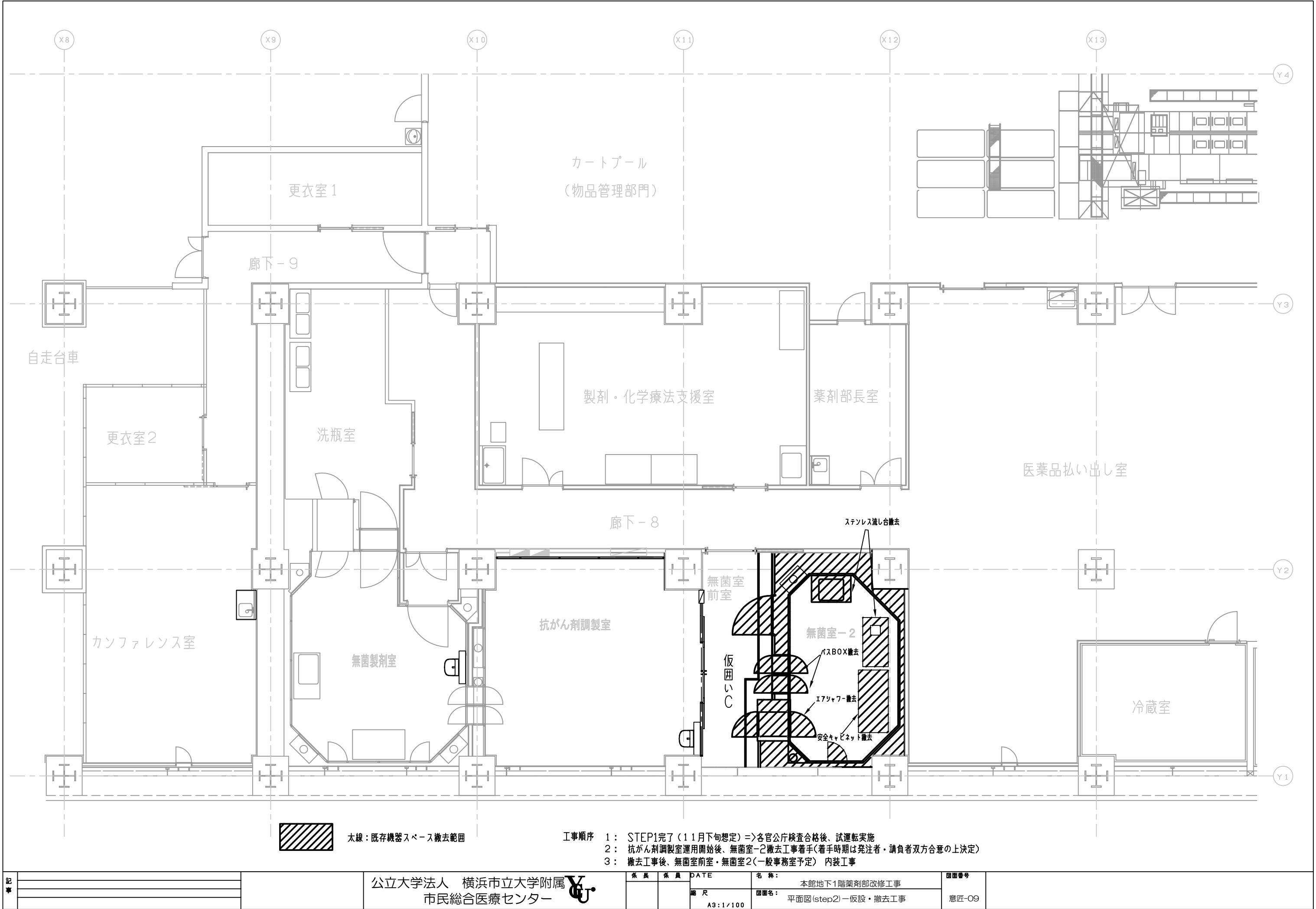


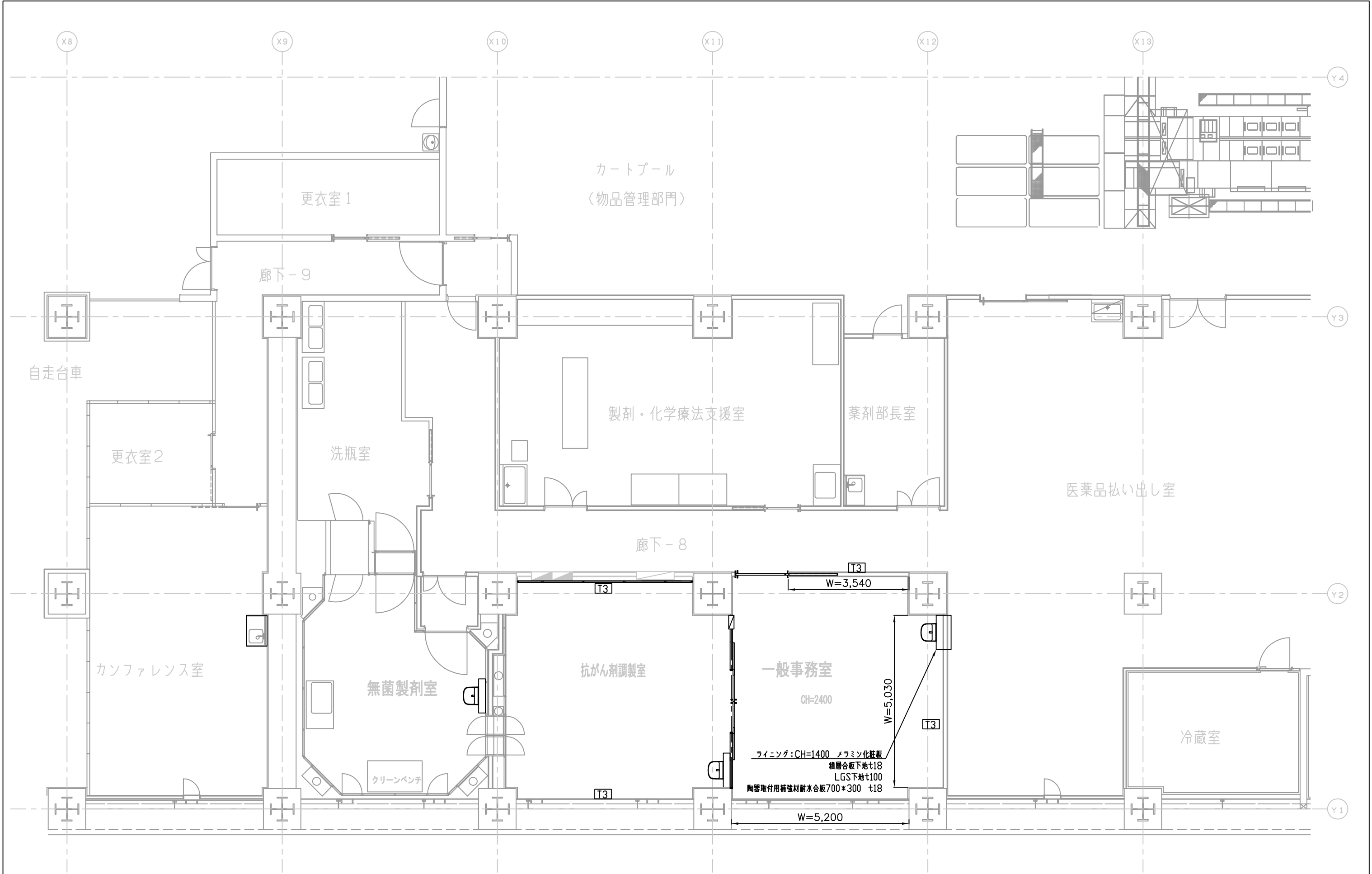
記事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター		係長	係員	DATE	名 称:	本館地下1階薬剤部改修工事	図面番号	
					縮 尺	図面名:	意匠-05			
					A3:1/300	平面図(改修後)				



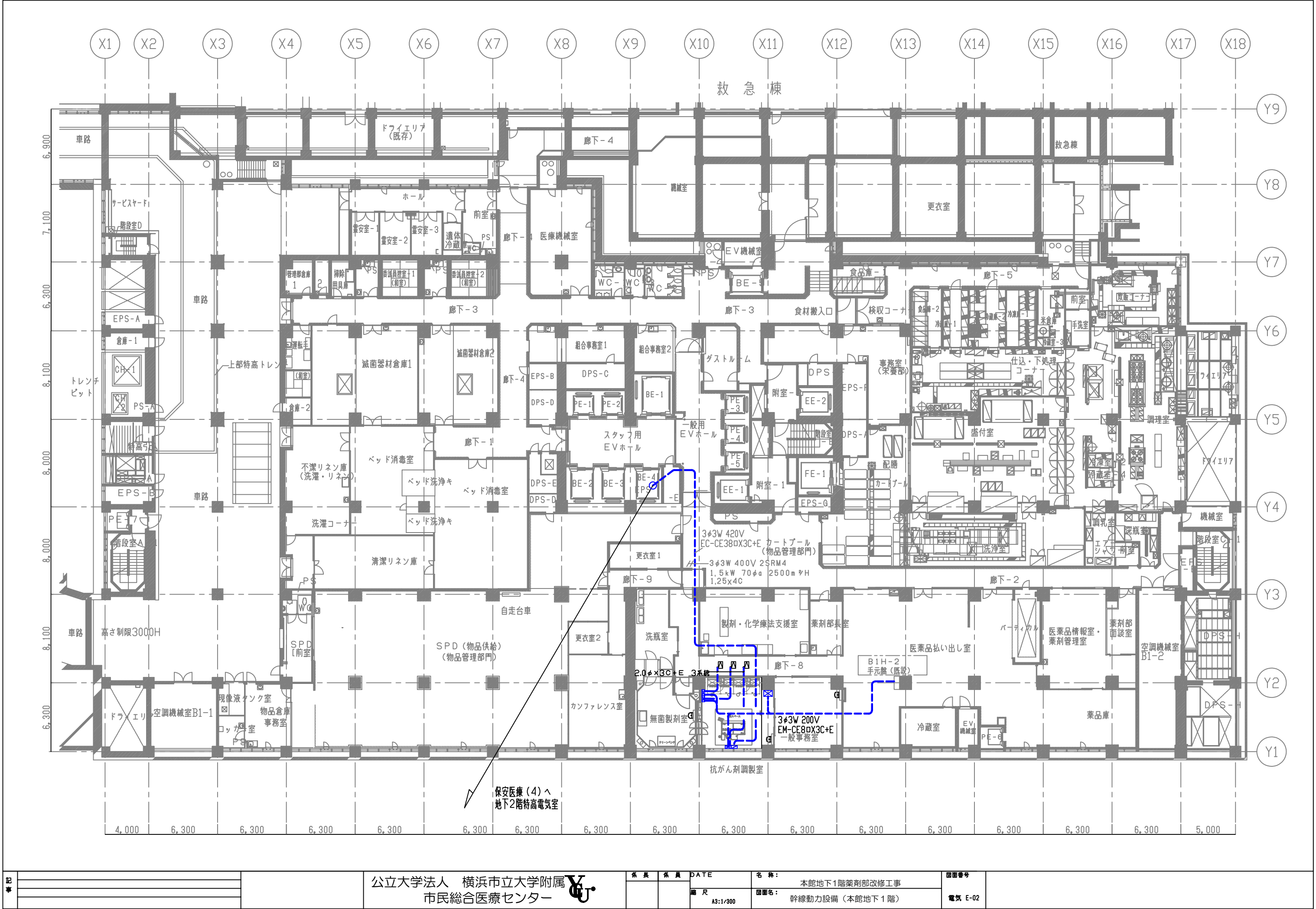


記事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	YU	係長	係員	DATE	名称:	図面番号	意匠-07
						縮尺	本館地下1階薬剤部改修工事		
						A3:1/100	平面図(step1) 一仮設・撤去工事		

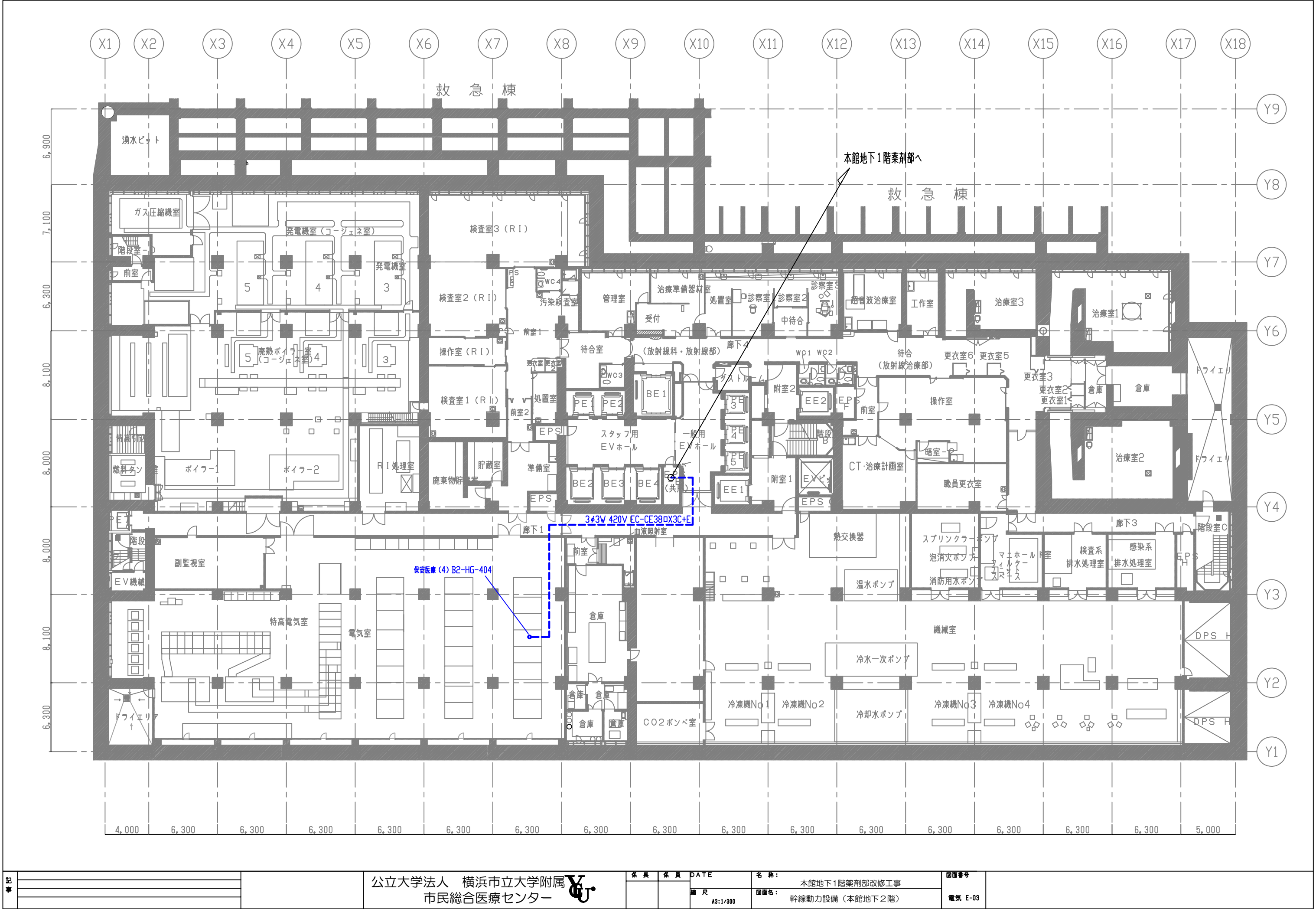




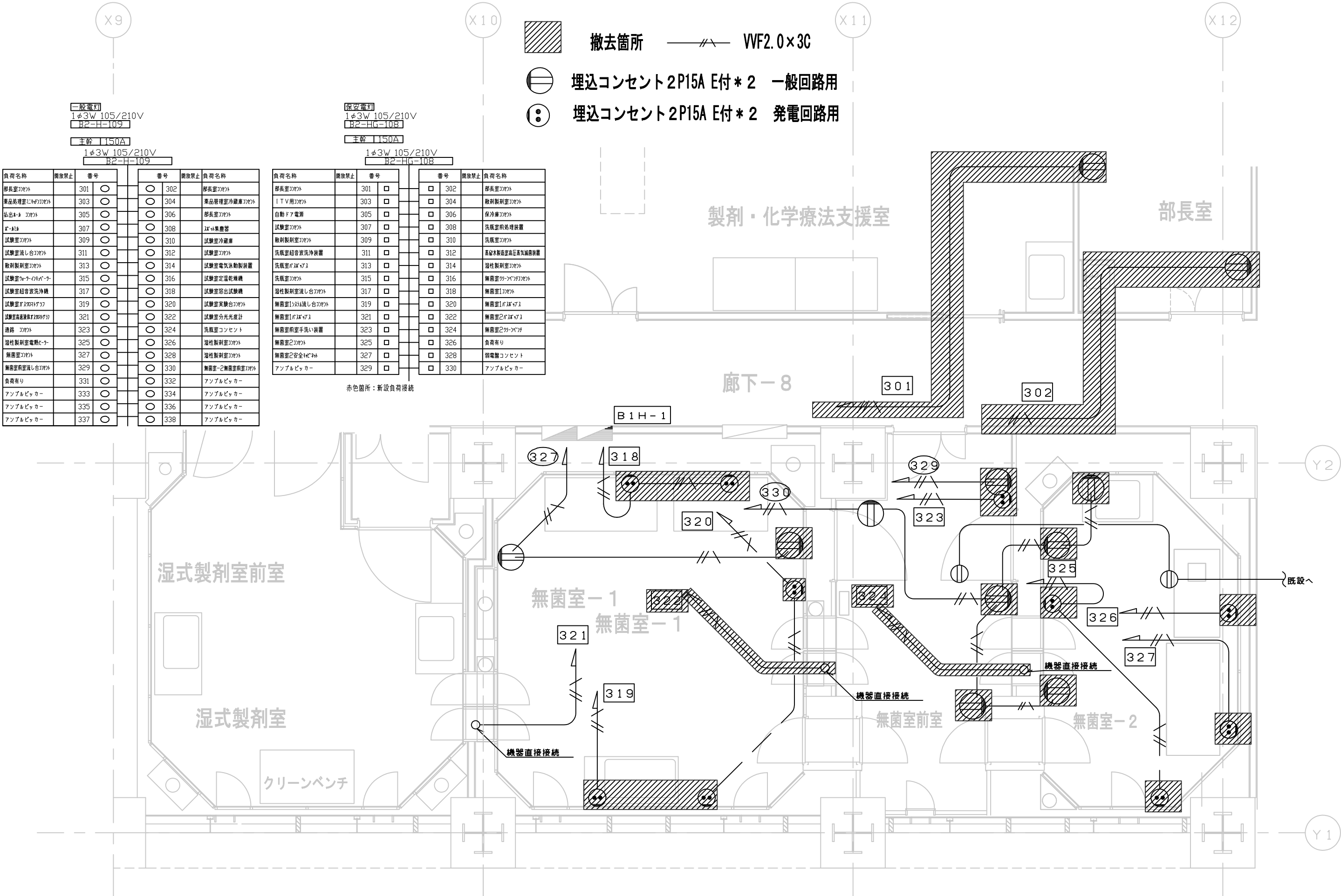
記事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター		係長	係員	DATE	名称:	図面番号	意匠-10
						縮尺	本館地下1階薬剤部改修工事		
						A3:1/100	平面図(step2)-改修工事		

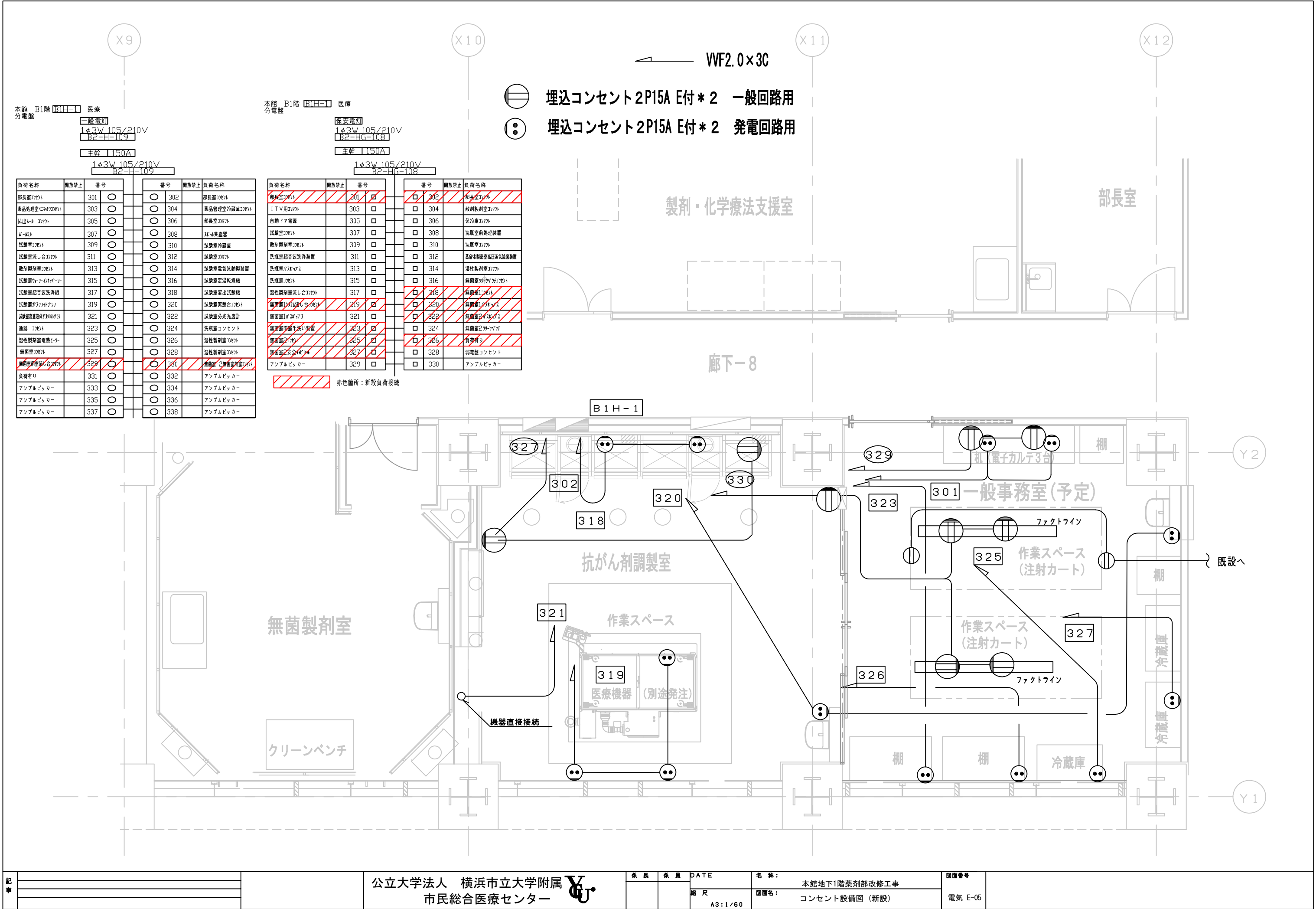


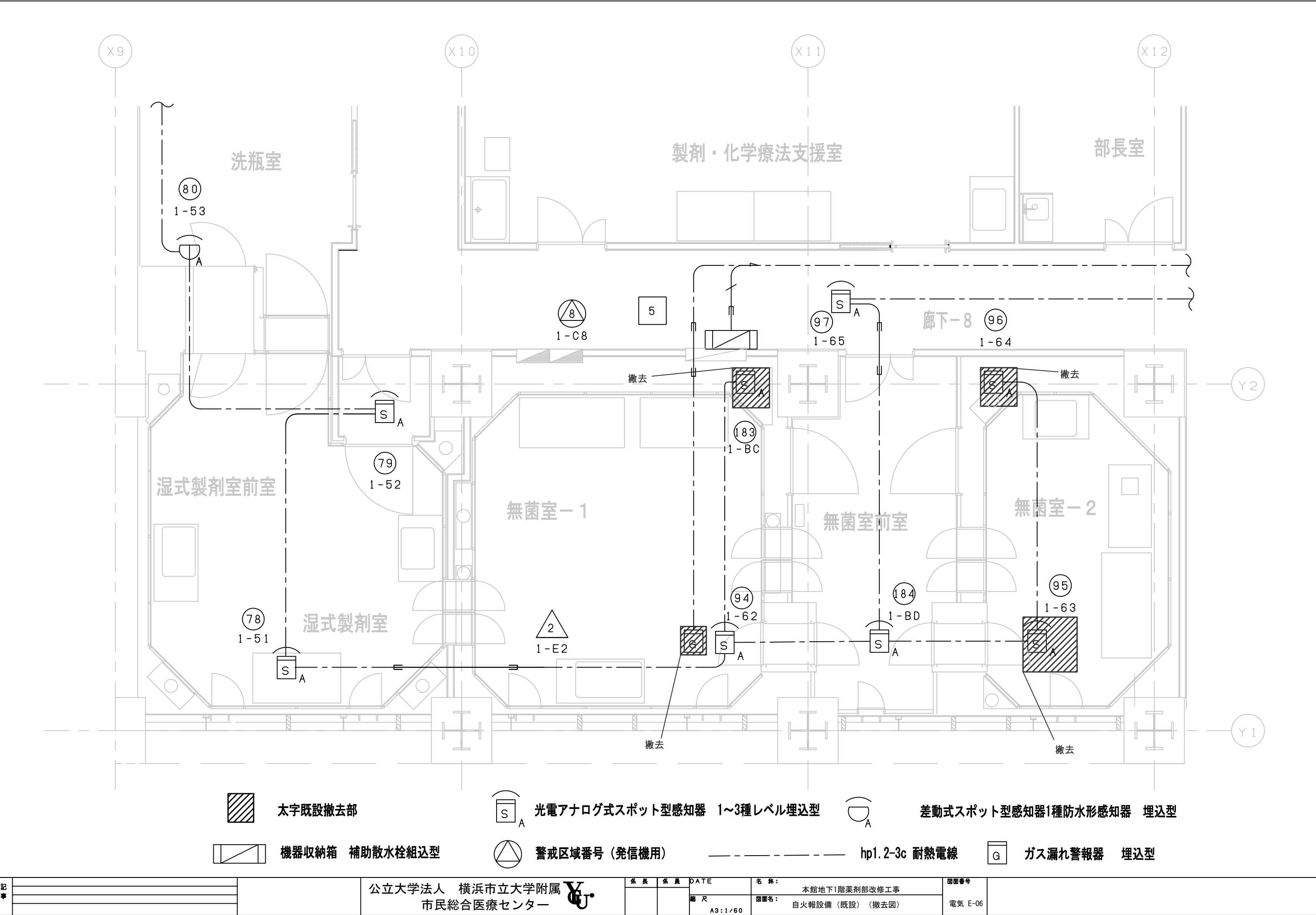
記事	公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター			保長 保員 DATE		名 称 :	図面番号
				縮 尺		本館地下1階薬剤部改修工事	電気 E-02
				A3:1/300		幹線動力設備 (本館地下1階)	



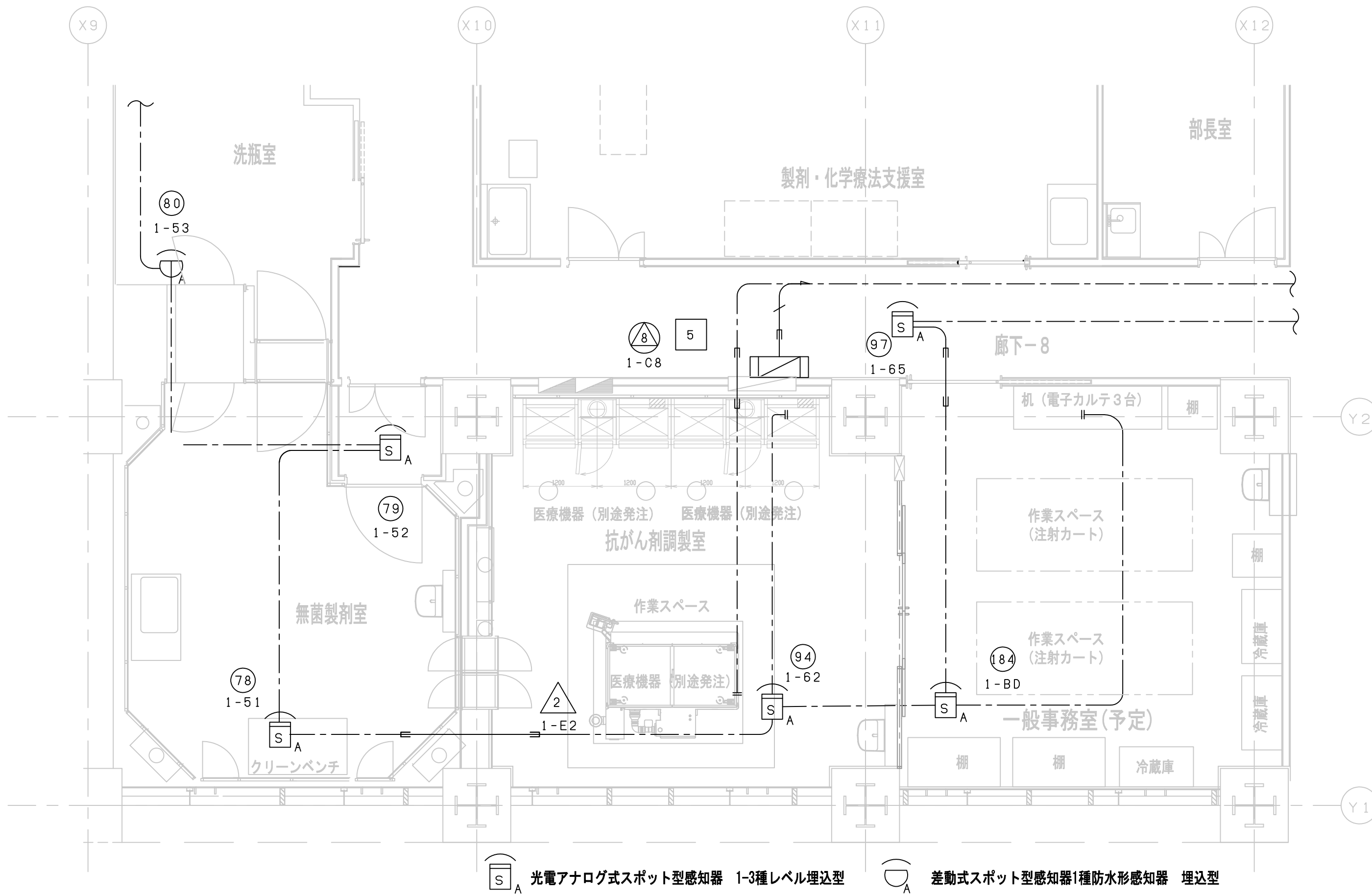
記事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	保長 係員 DATE 縮尺 A3:1/300	名称: 本館地下1階薬剤部改修工事 図面名: 幹線動力設備 (本館地下2階)	図面番号 電気 E-03



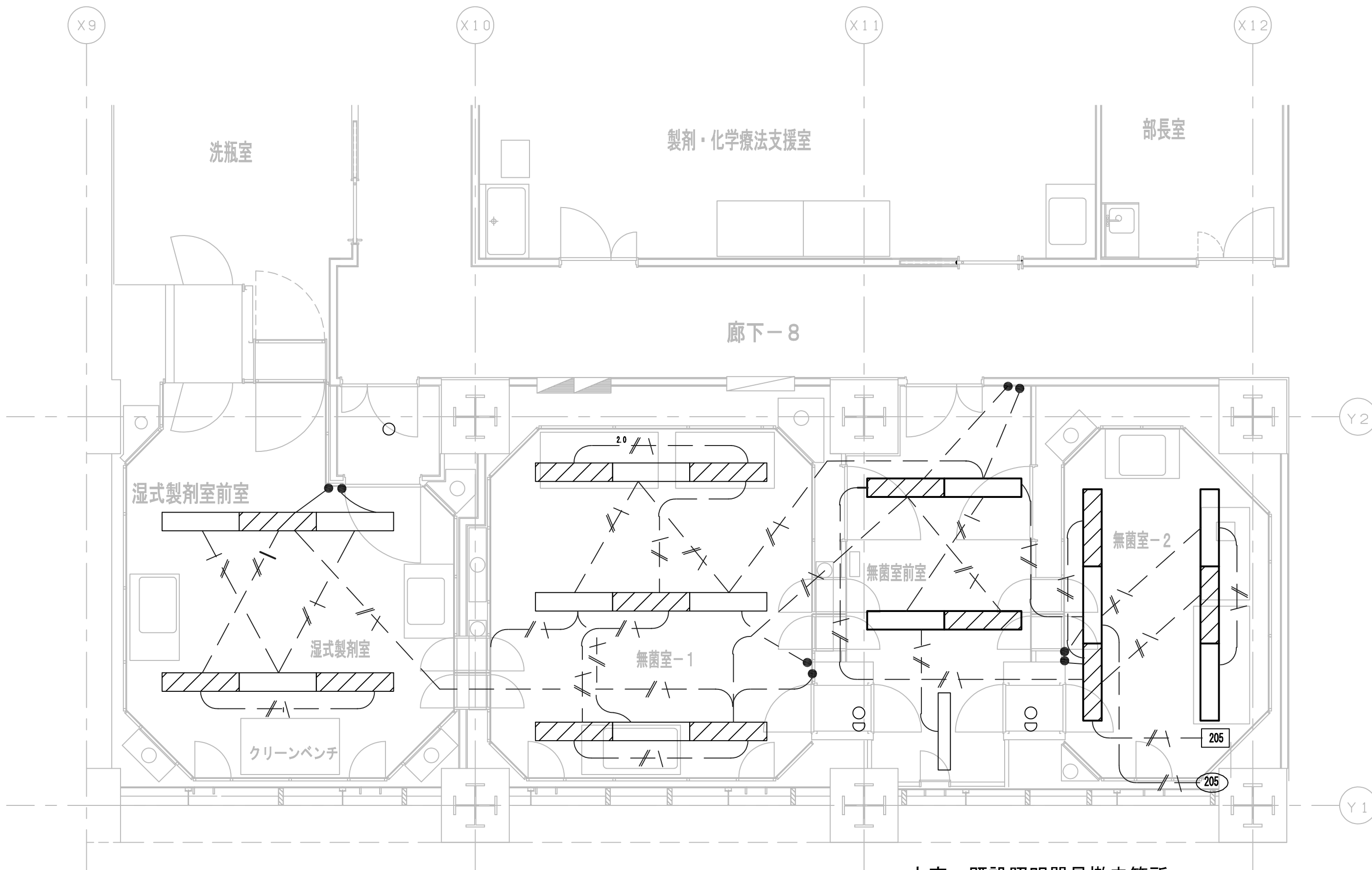




記事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター		係長	係員	DATE	名称:	図面番号
							本館地下1階薬剤部改修工事	
						縮尺 A3:1/60	図面名: 自火報設備(既設)(撤去図)	電気 E-06

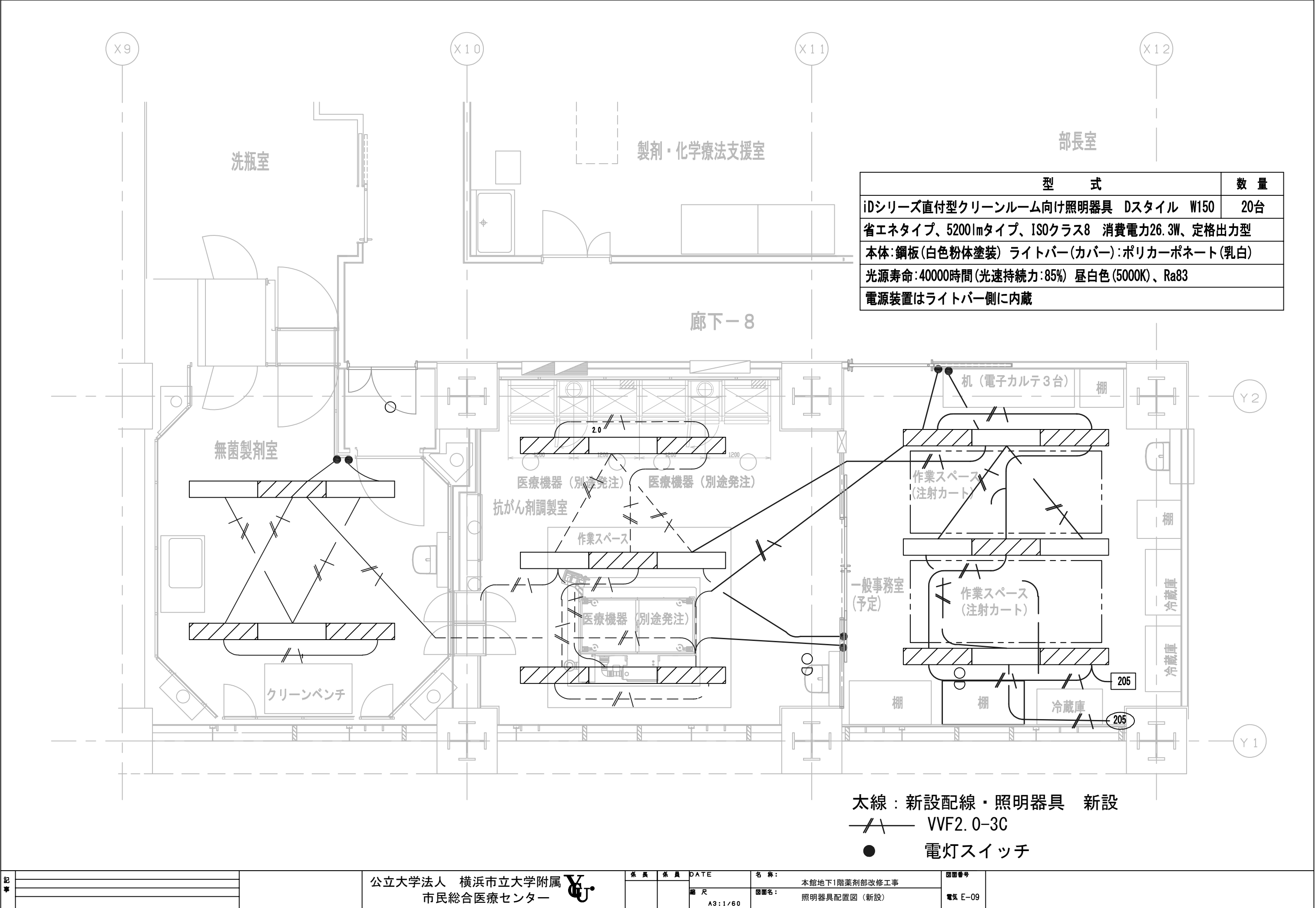


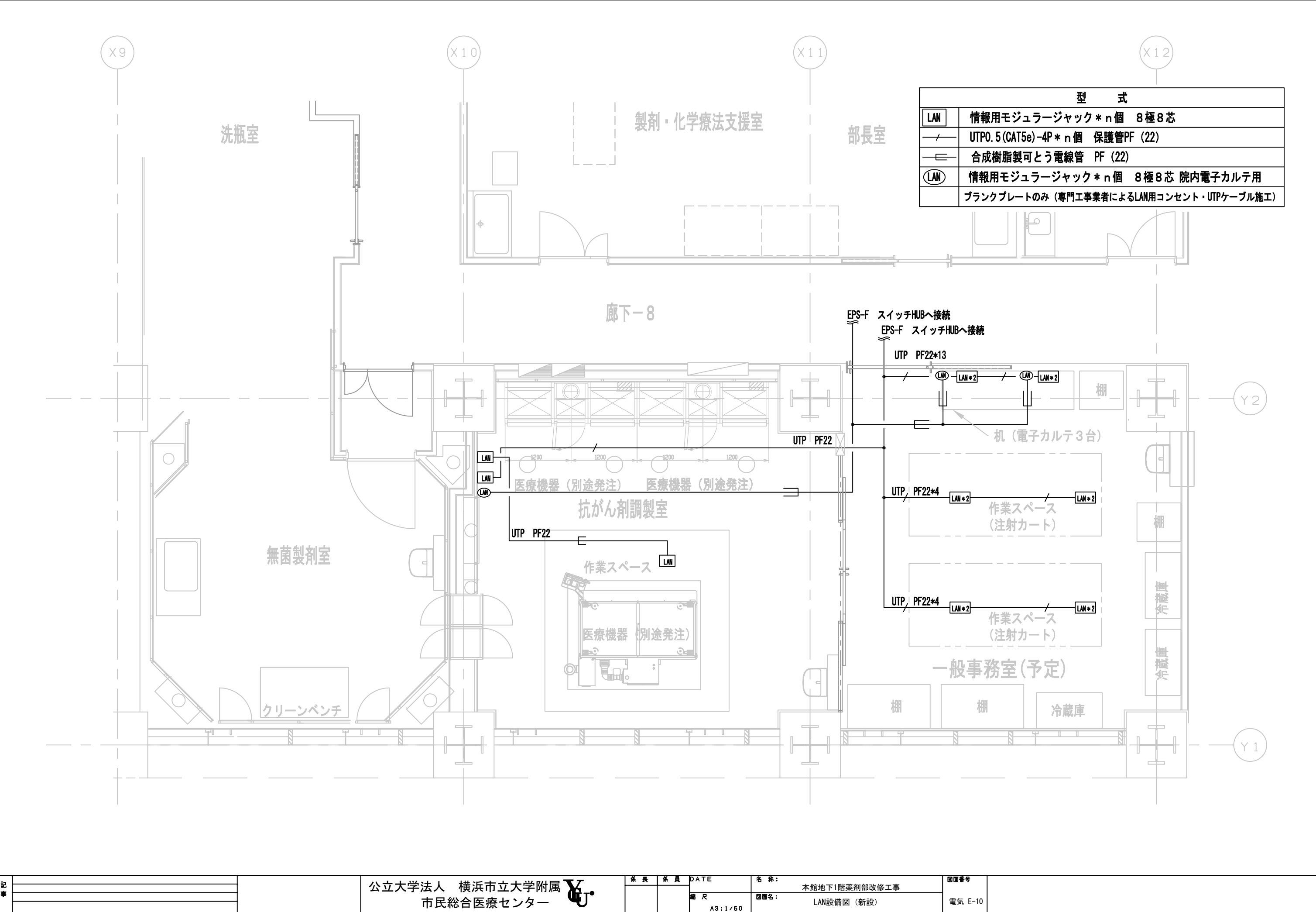
記事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター		係長	係員	DATE	名称:	図面番号
							本館地下1階薬剤部改修工事	
						縮尺 A3:1/60	図面名: 自火報設備(新設)	電気 E-07

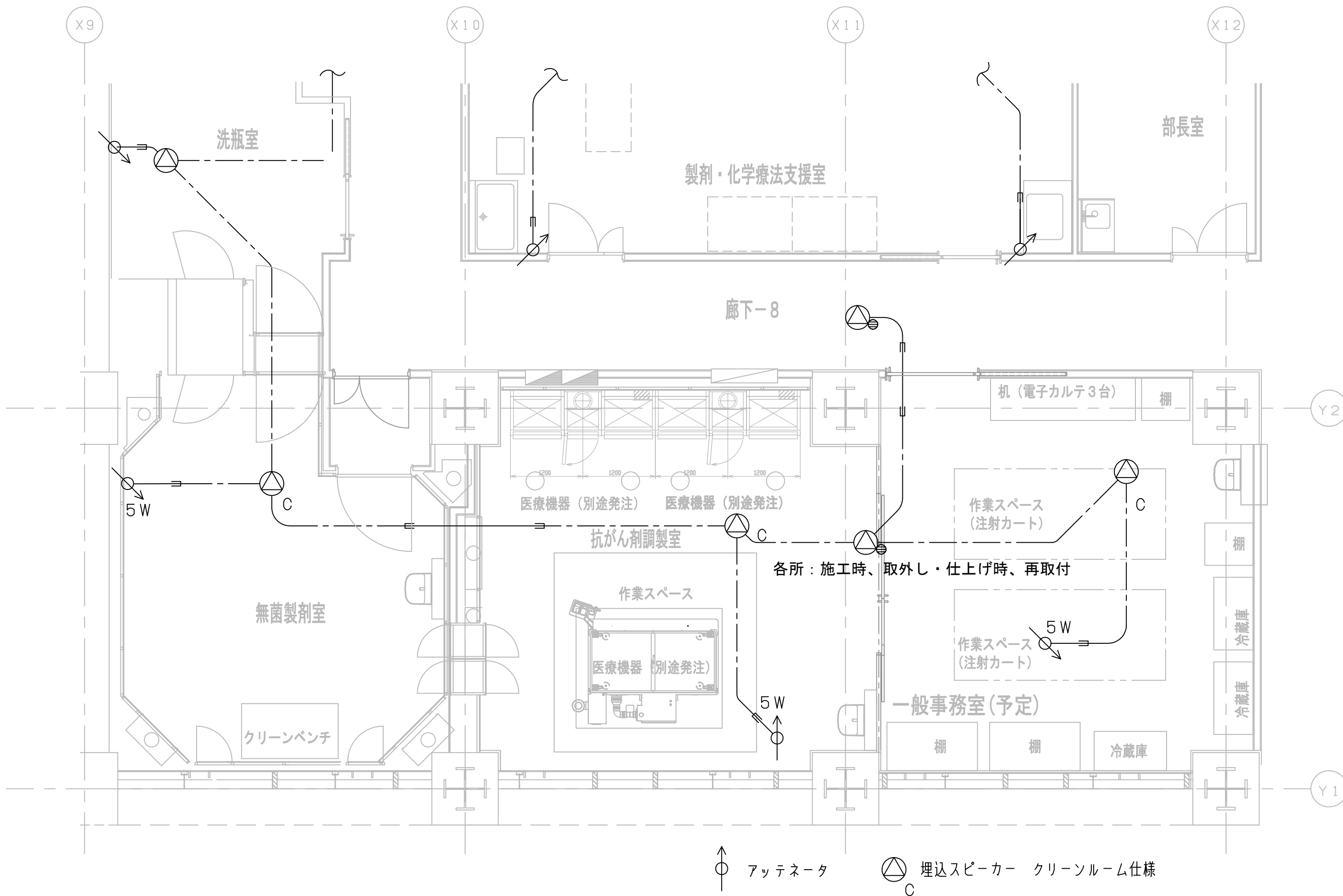


太字：既設照明器具撤去箇所
—//— VVF2.0-3C
● 電灯スイッチ

記事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター		保長	保員	DATE	名称	図面番号
						縮尺	本館地下1階薬剤部改修工事	
						A3:1/60	照明器具配置図 (既設)	電気 E-08





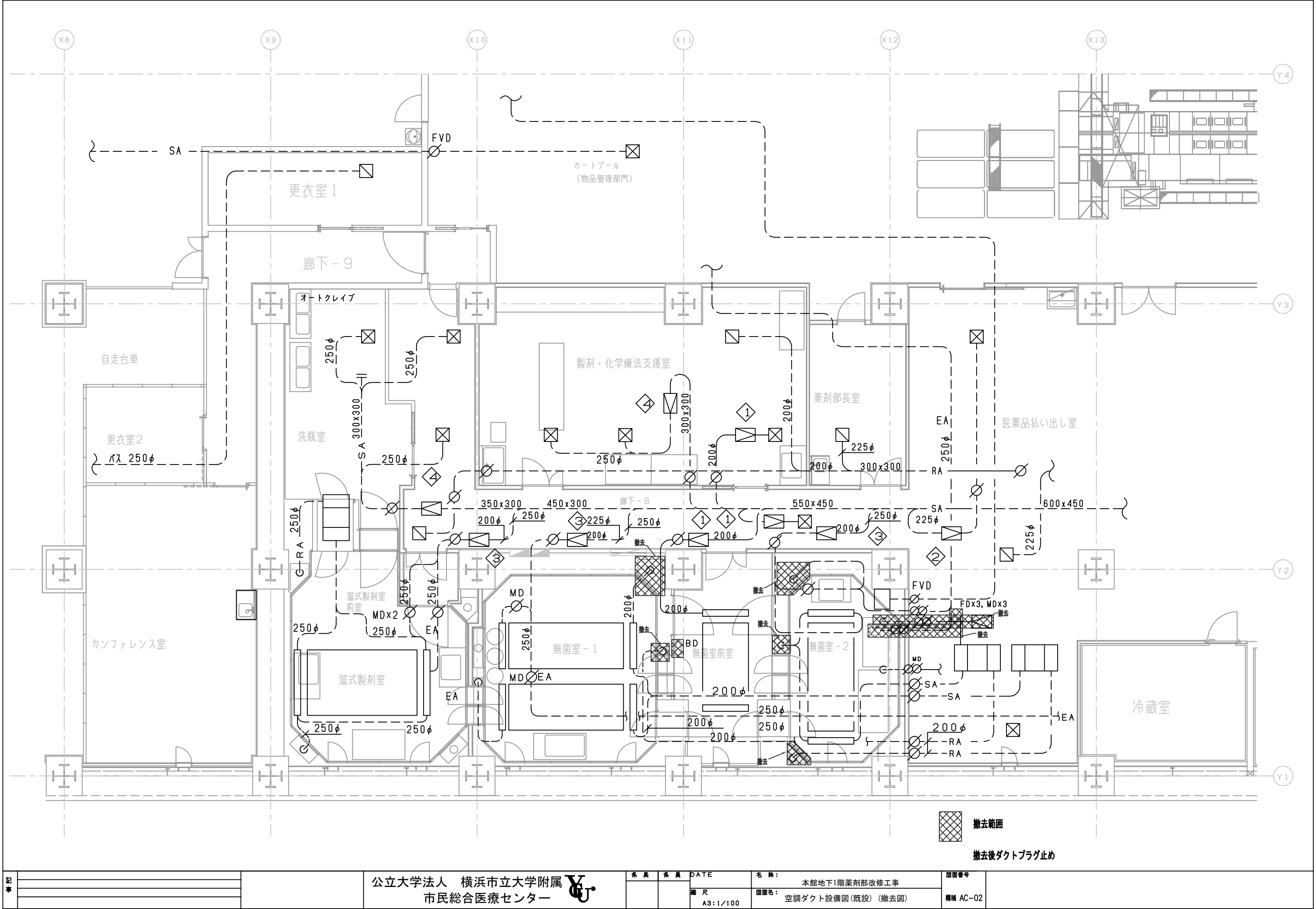


記事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	YU	係長	係員	DATE	名称:	図面番号
							本館地下1階薬剤部改修工事	
						縮尺 A3:1/60	図面名: 放送設備 (取外し・再取付)	電気 E-11

特記仕様書

[illegible]

記 事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター 	係 長	係 員	DATE	名 称：	図面番号	
						本館地下1階薬剤部改修工事	機械-01	
				縮 尺 N/S	図面名：	改修特記仕様書（機械 01）		



記事	

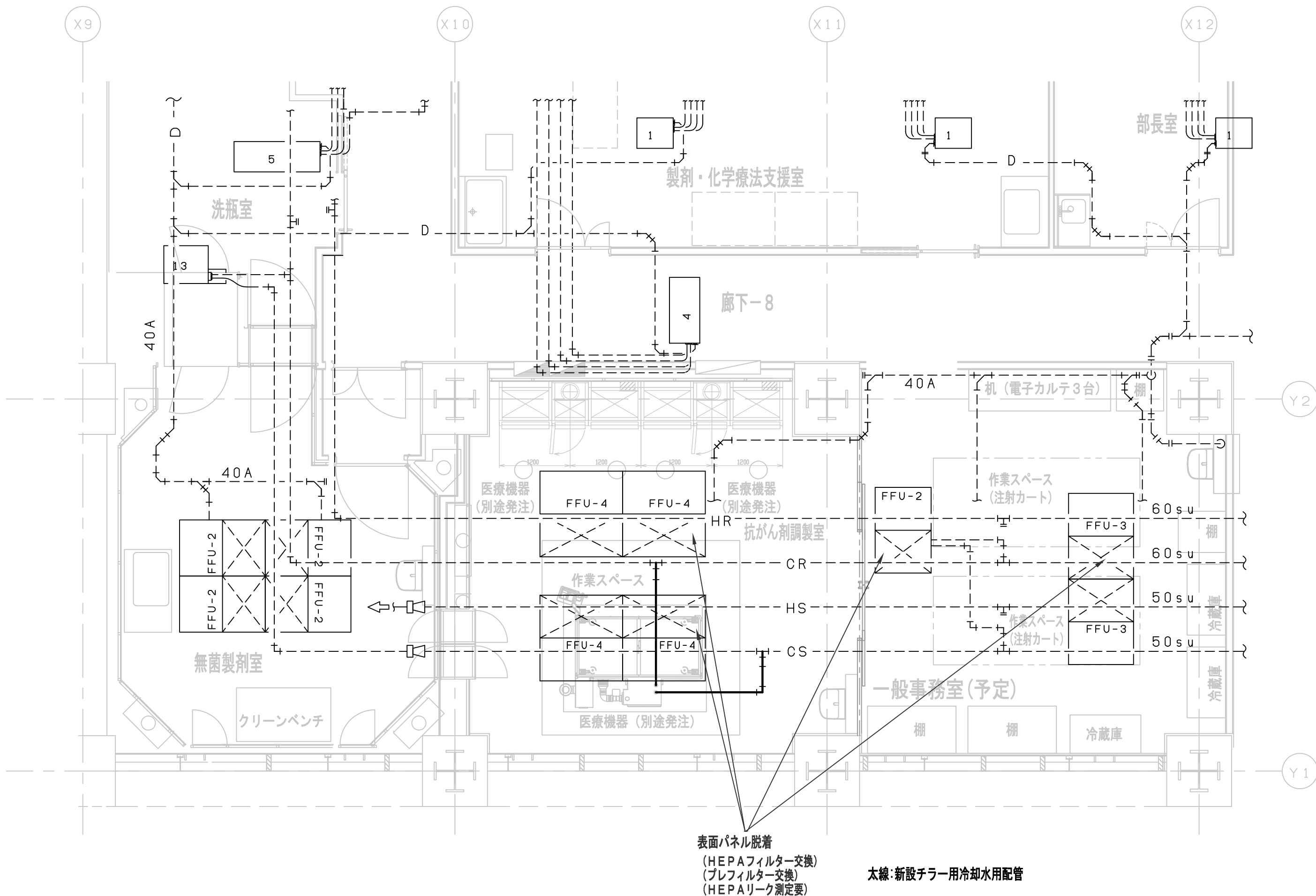
公立大学法人 横浜市立大学附属
市民総合医療センター

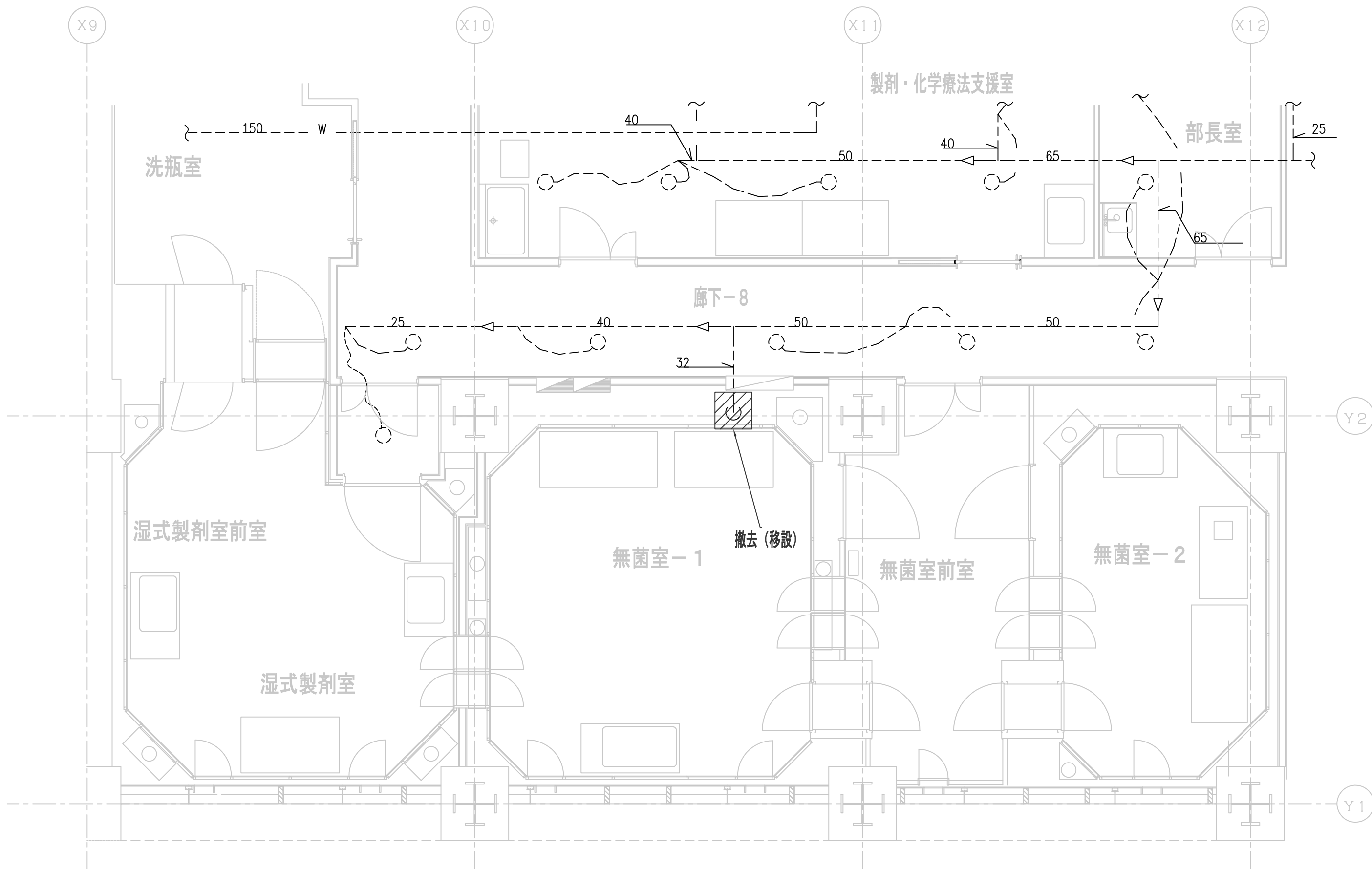


係長	係員	DATE

名称:	本館地下1階薬剤部改修工事
図面名:	空調ダクト設備図(既設)(撤去図)

図面番号
機械 AC-02





○ 既設スプリンクラー

記事	

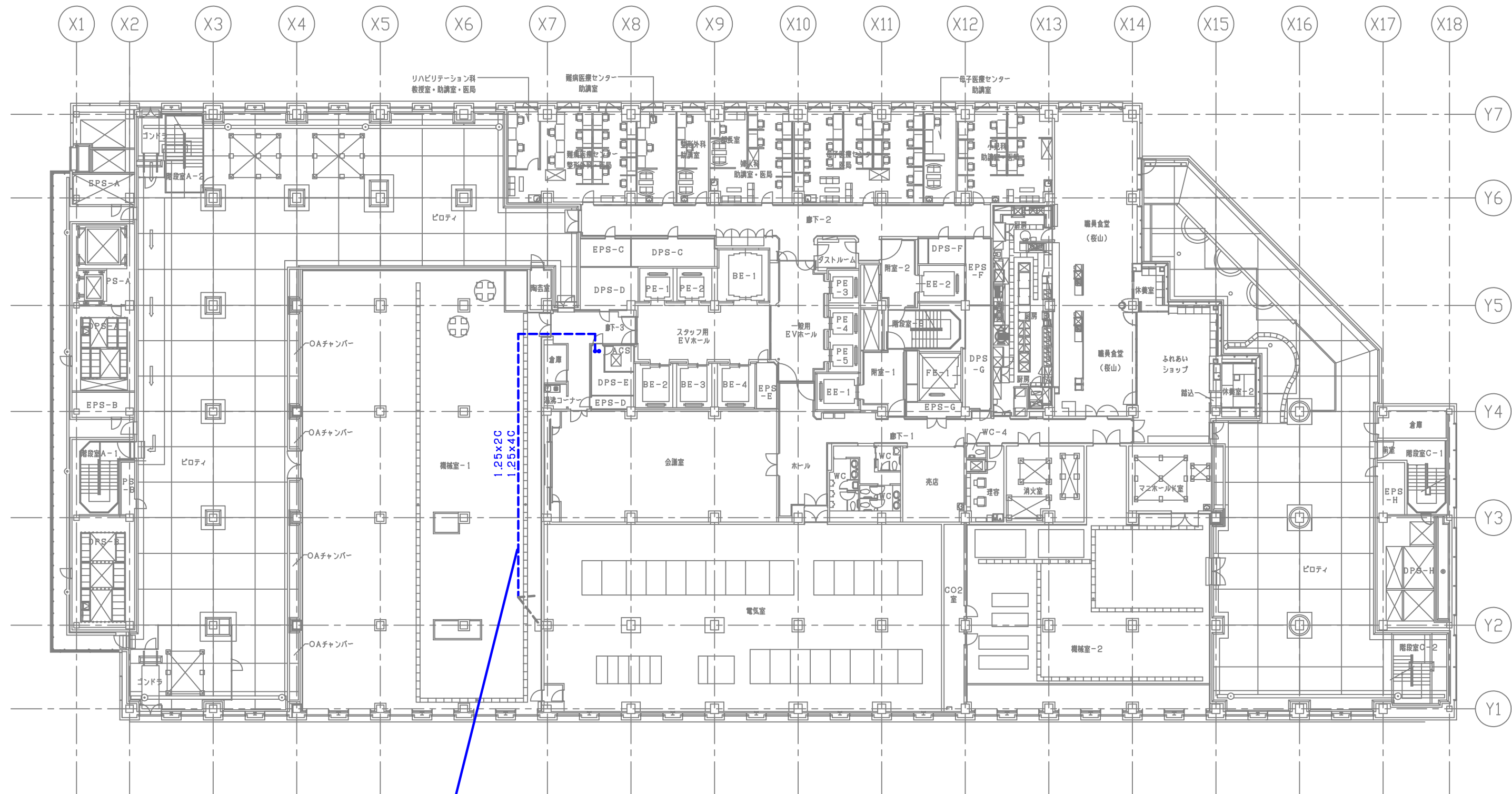
公立大学法人 横浜市立大学附属
市民総合医療センター



係長	係員	DATE
		縮尺 A3:1/60

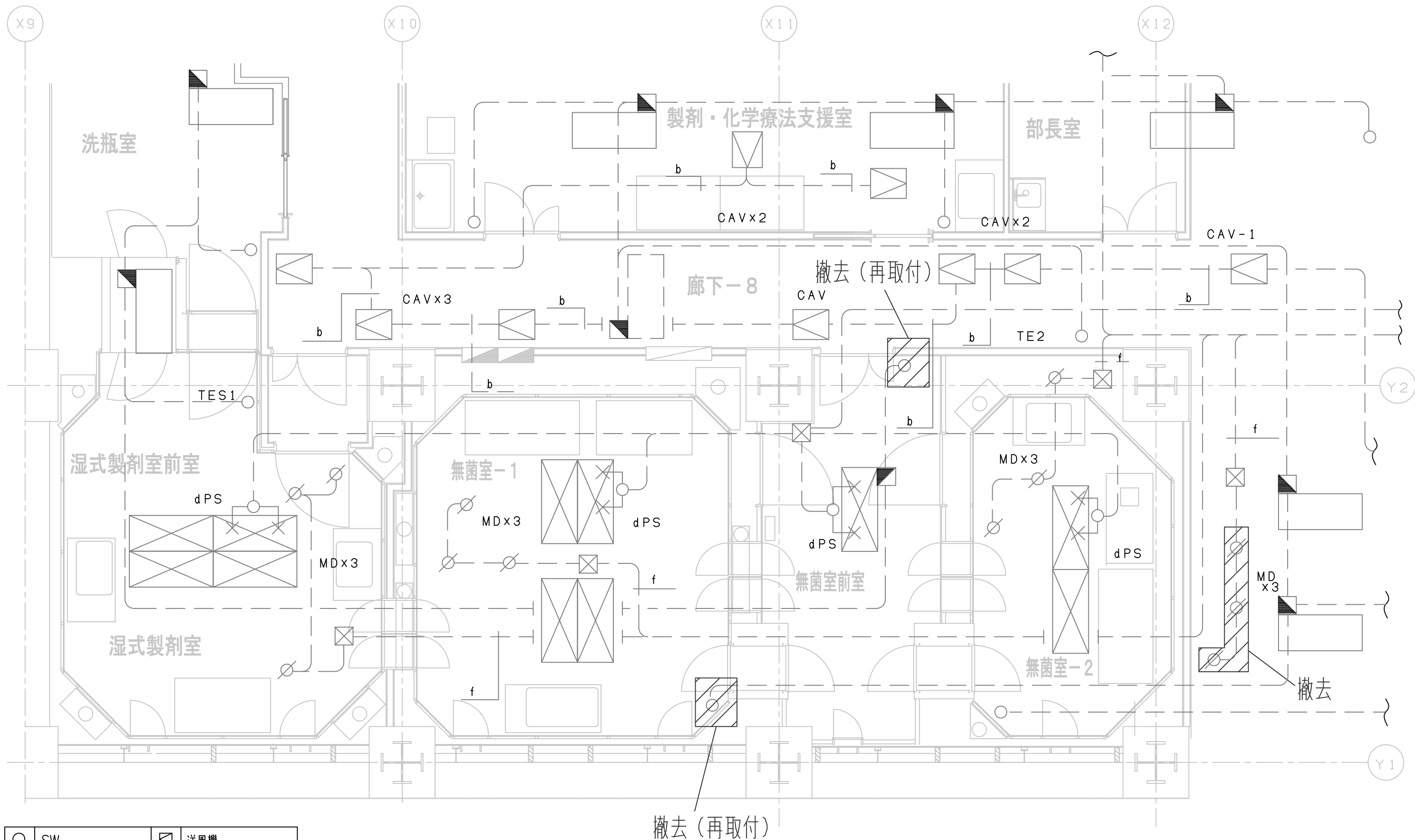
名称:	本館地下1階薬剤部改修工事
図面名:	消火設備図(既設)

図面番号
機械 AC-05

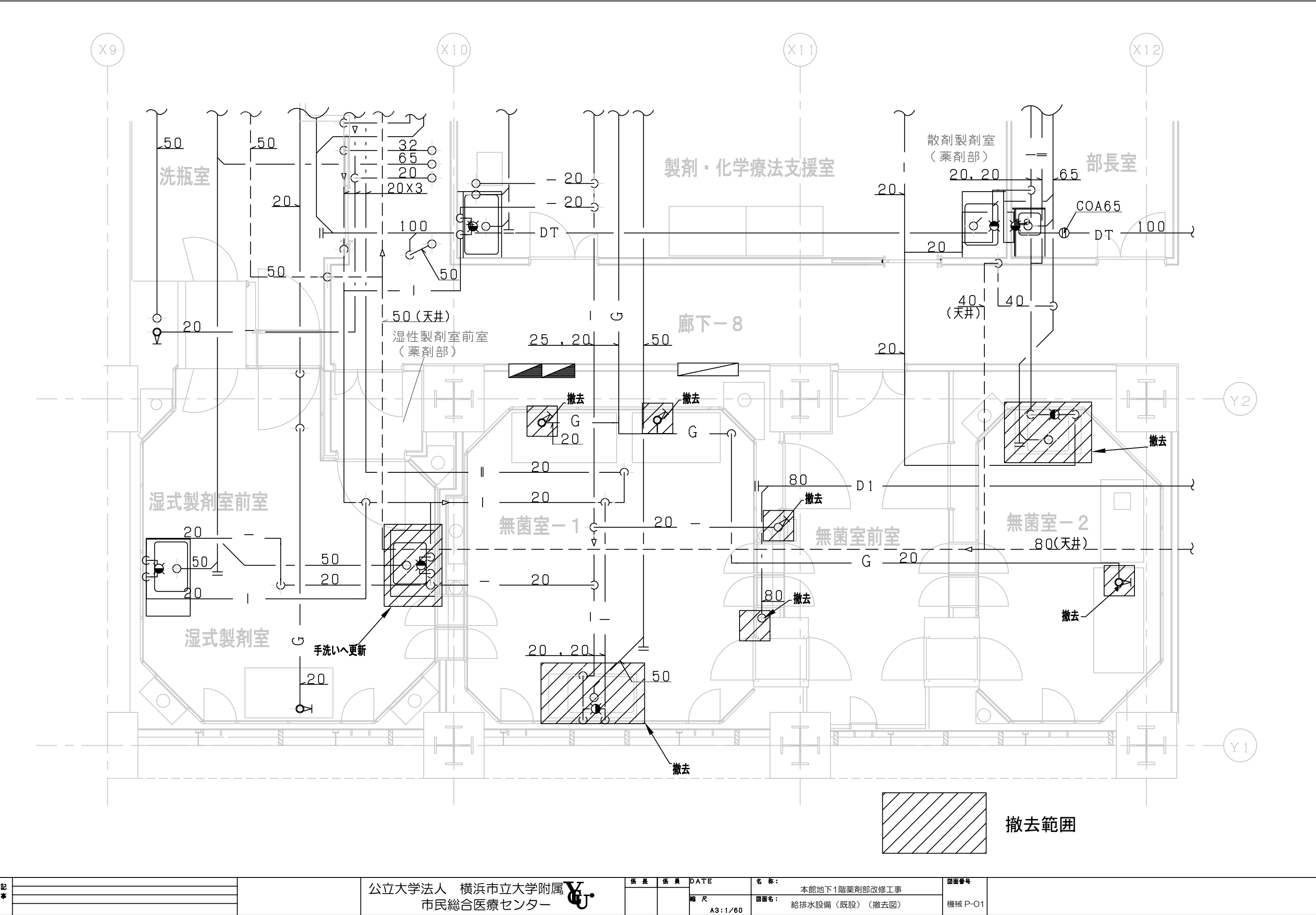


3φ3W 400V2SRM4 1.5kW 70φa 2500m²/H
※ 吊り架台を必要とする

記 事		公立大学法人 横浜市立大学附属 市民総合医療センター	YU	係 長	係 員	DATE	名 称:	図面番号
							本館地下1階薬剤部改修工事	
						縮 尺 A3:1/300	図面名: 自動制御設備図 (本館6階) (新設)	機 械 AC-07



○	SW	◻	送風機
⊘	MD	⌘	DPS(差圧SW)
⊠	点検口	⊠	送風機制御盤
■	ファンコイル制御ユニット	◻	電源BOX



記事	

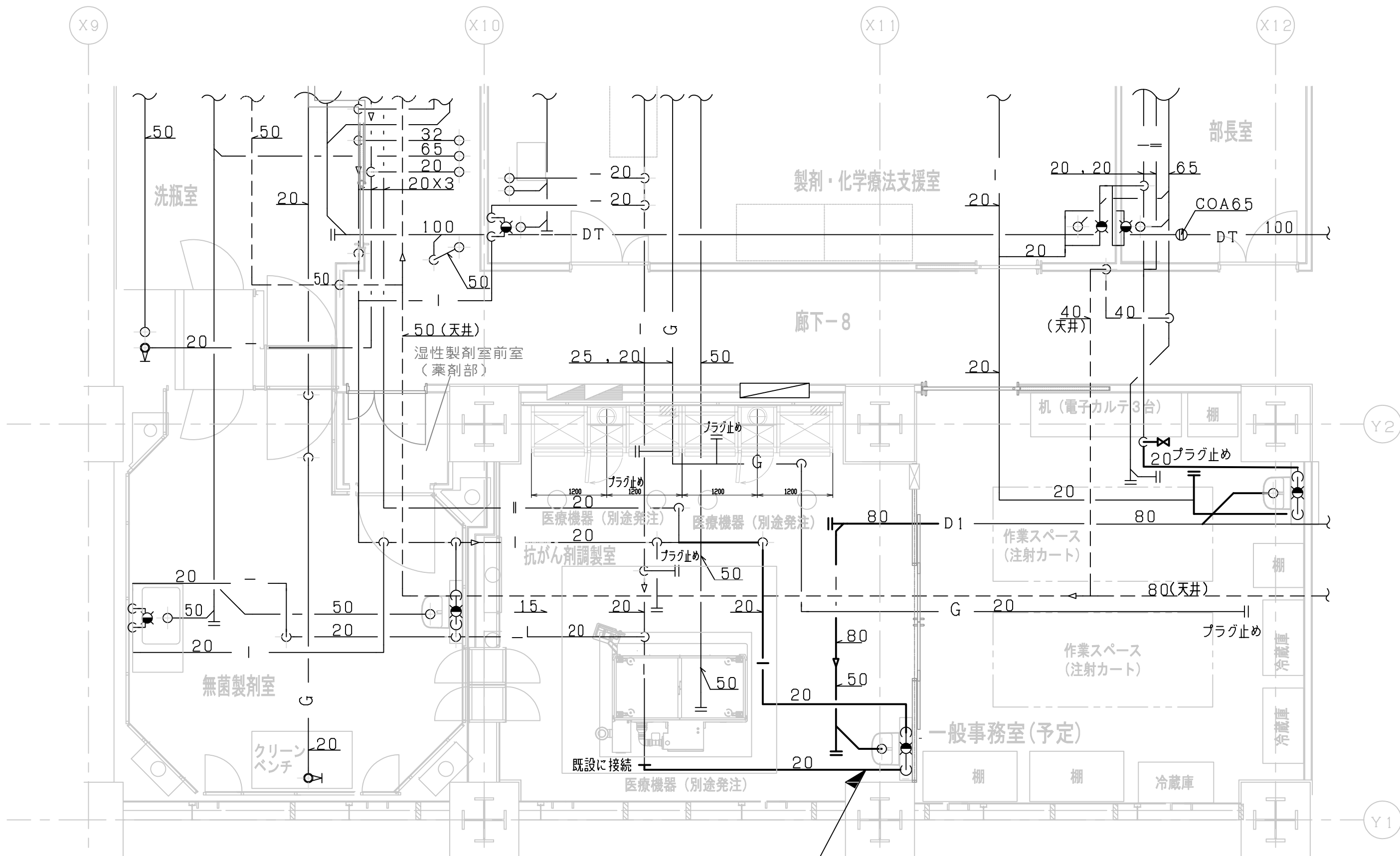
公立大学法人 横浜市立大学附属
市民総合医療センター



係長	係員	DATE
		縮尺 A3:1/60

名称:	本館地下1階薬剤部改修工事
図面名:	給排水設備(既設)(撤去図)

図面番号
機械 P-01



床コア工事 給水 : 20A×3ヶ所 50φ (レントゲン撮影を必要とする)
給湯 : 20A×3ヶ所 50φ (レントゲン撮影を必要とする)
雑排水: 50A×3ヶ所 100φ (レントゲン撮影を必要とする)
・下層階に電気変電設備あり、漏水対策を行った上工事のこと

	型式 (TOTO)	無菌製剤室	抗がん剤調製室	一般事務室
手洗器	LS850EPA 混合水栓	1	1	1